

平成7年7月27日(木) 1泊

30th 笹倉

パラグライダーを黒姫でやっています。新潟出張のついでに来ました。ずいぶん小屋がきれいになって、過ごし易かったです。夏から秋にかけて又来る予定ですのでランタンはおいておきます。使ってください。あと虫がすごくて大変でした。あと蚊取線香を補充しておきました。

平成7年8月10日(木) 1泊

30th 土生達也

あいかわらず笹倉来ていますねえ。僕も着ました。修学旅行の下見ついでです。実は7日に一度よったのですが、あまりの蚊の多さに降参して逃げました。今蚊取線香三つと虫除けスプレーのお世話になっています。年々小屋に来るのには勇気がいるようになってきます。特に暗闇で一人であるのが恐いような心地いいような～。7月の大雨でずいぶんひどくなっていると思っていたら現役諸君ずいぶんがんばってくれたみたいですねえ。感謝しています。

平成7年8月11日(木) 立ち寄り

22期・津江真行

22期・(旧姓・成田) 裕子

明日香(9歳)、陽一郎(6歳)、晃史郎(3歳)

笹ヶ峰キャンプ(2泊)・・・本当は1泊小屋泊りしたかったのですが、悪天の為8/10動けず。

10年振りに小屋に来ました。子供連れて、女房とここに来るのが昔からの夢でした。本当になつかしく思います。現役の皆さん、本当に小屋をきれいにしてくるみたいで、本当に有難う。これからも頑張ってください。お酒1本置いておきます。今まで何もしていないOBで、申し訳ありません。20～26期位の仲間とは時々会ってます。小屋の再建、小生も元山小屋委員長、前後の仲間に声掛けして微力ながら頑張ります。またよろしく。(津江真行)

22期・(旧姓・成田) 津江裕子

立ち寄ったところ。笹ヶ峰牧場のむこうのキャンプ場から。クネクネの道を上りながら、涙が出そうになるくらいジーンとこみ上げてくるものがありました。

昔ここで、仲間たちと集まったことがどんどん思い出されてきました。現役のみなさんが、こんなにきちんときれいにして下さっていて、感激しました。その頃の仲間の何人か(女子)に8/14(月)に会う予定にしています。ちゃんと報告していきますね。どうも

ありがとう。 津江裕子

平成7年8月31日(木) 午後5:00着 1泊

38thのキャップ 細谷慎一

今日は、ただなんとなく小屋にやって来ました。一人でここに来るのは初めて。この日誌(記録帳)に書くのも初めてです。

朝、家を出発するときから雨で、そのうちやむと読んでやってきたら、なんとかやんでくれた。

そういえば妙高々原の駅からバスでやってくる予定だったんだけど、杉の沢までしか行かなくて、しかたがなく、2時間かけて歩いてきたよ。8/27までだったら笹ヶ峰まで行ったそう。

P.S. アンパンマンのビスケットボーロを置いてく。

平成7年9月13日

管理人・岡田悟

管理人の五八木荘主人岡田悟。

山林管理のため来て小屋を見る。

よく整理整頓されて居りサスガ横浜国大ワンゲルだと

驚き感嘆する。

平成7年9月16日(土) 1泊

わざわざかゆなくてもみんな知っている(有名)

29th 禅ゆずり智明

何年ぶりの小屋です。きれいに整備されていますね。今回はフトンなどを寄付しに来ました。

じゅうたん4. 5畳 1->冬下に敷くといいでしょ

敷ぶとん 2

夏掛けふとん 6

タオルケット 4

毛布 4

こたつかけ(ピンクに格子もよう) 4->こたつの上においてあります

マットレス 大1

ふとんカバー 1

かけふとん(赤) 1

やっぱりまめに書いてあった!!予想大当たり

以上使ってください。1人だったので車と小屋の間を7往復半しなければなりません。何とか雨の前に運び込みました。ご苦労さまでした。数えているところが寒い

今日は黒姫に登ろうと意気込んで着たものの台風の接近と秋雨前線による大雨でボツ。30th 笹倉くんの率いるパラグライダー軍団のみなさんとワイワイ話に花を咲かせていました。本当はもう1泊したいんだけど、月曜日の会議に間に合わないとなまずいなあ。結局1人で先に横浜へ帰ります。

それから『防虫剤』をおいていきます。使って下さい。

笹倉へ伝言

- ・ 火種をたやすこと。
- ・ やかんの水をすてて黒いビニールにつつんで下さい。
- ・ もう一度ガスの元栓 Check
- ・ ふとんをたたんだ時に防虫剤を間にはさんで下さい！！ はいはい

ちなみに私は7月にハンディの無線機を購入しました。YAESU FT-51ND という機種です。

▲ 多分4W(High) ゆずりさん自身もHighだった

今笹倉さんと交信中ですが、野尻湖をすぎ、黒姫の先まで入信マニア用語!! しておりました。

例えば杉野沢の買物部隊と交信できると便利ですよね。では、そろそろ出発します。パラグライダーのみなさん、ご無事であれ。

P.S. 150円払っておきます。(忘れるところだった)

平成7年9月16日(土) 2泊

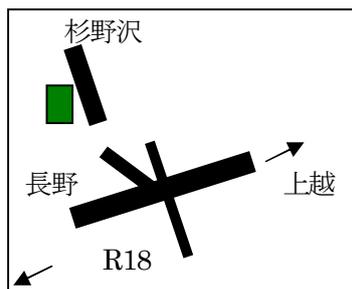
30th 笹倉、他国大OB8名 (K. Sukumi, S江崎) 29期の禅さんと小屋に入っています。ふとんが増備えされたので、たくさんで寝てもたりになくて寒い思いをすることはありませんでした。大型台風が来ており、パラグライダーは全くできず、小屋でうだうだしています。

パラグライダーで年間を通してけっこうこの近くへ来ております。時々この苗名小屋にも寄せてもらっていますが、黒姫の山のふもとにある砂田小屋というところにも泊まっています。この小屋よりもずっと小さいですが、水場あり、キャンプ場ありでなかなか快適です。さて現役やOBのみなさんが小屋の帰りに楽しめるところを紹介しておきましょう。

○ 食べる編

杉野沢から R18 に出る途中に「林道」という店がある。中華料理店だがここではめん類や丼物など大盛り(150円増)がおすすめ。盛大なものが出てくる。特に五月そばなどでは、すり鉢大盛りで出してくれる。但し夕方は準備中の事が多いので注意。特大ビールもおすすめ。

数人で行ったときは、取皿を貰って大盛りを(人数X2/3)で食べれば、ちょうど満身に食べられる。



○ 編

1. いもり池の近くの「かんぼ」が500円(シャンプー、リンス、せっけん付)。ふろは結構広い。あわぶろあり。夜8時まで(受付7時?)
2. ちょっと高いが野天ふろ、サウナ付の「ランドマーク妙高々原」がある。1000円だが「あらきん」商店へ行けば200円割引券をくれる。(シャンプー、リンス、せっけん、タオル、バスタオル付)夜10時まで。

小屋まで行くのがおっくうなときや一般人(小屋に泊まれない人)と妙高に来たときはこの仮眠コースが安い。

22:30~10:00 2300円

AM2:00~10:00 2000円

寝具付、ふろ入り放題。日帰りで妙高に来たときはここで仮眠している。

.....案内図は省略.....

平成7年10月7日 立ち寄り

9期・三浦焔、上原、日渡、鈴木弥

なつかしき、YWV 山小屋を

戸隠、高妻山 山行の前に探しに4WDで来て発見。

20数年振りで、僅かな記憶で漸く見つけた。

出入口の鍵はかかっていたが、ドア全体を引いたらあいた。くれぐれも戸締りを!

皆さん 再会を約して お元気で。

我々は、49~50歳の中年になりました。元気です。

平成7年10月8日20:00くもり

37th 小野、富士田、堀越

38th 神谷、細谷

39th 四方、後藤

また また このなえな小屋に来ました。今回は、妙高山、火打山に登ってきた帰りです。打ち上げを「やおとく」でやったんだけど、みそカツ丼がうまい! そうですね、「やおとく」の場所がちょっと変わった。50mぐらい奥に入ったところにある。38th 細谷

P.S.

11月11日から横浜国大において OB 総会をやりませう。みなさん来て下さい。重大な発表があるかも。小屋について!

平成7年10月9日 (半々3泊と2泊)

30th 笹倉、海洋学科OB5名
またパラグライダーにきています。でも強い風でなかなか飛ばません。

平成7年11月19日 1泊

30th 笹倉、他海洋学科OB6名

平成7年12月26日 吹雪(視界10-15M実話)

37期・伊藤栄二 (前小屋委員長Cf 三日前まで現だった)

単独、スキー、その他物思いに耽るため、10泊程度(1月4日か5日まで) 11:45ごろ小屋到着。昨日23:58発の急行“能登”で上野を出て、今朝4:20ごろ妙高々原駅に予定より30分程度遅れて着いた。遅れたのは当然、大雪のためで、各駅で接続待ちが結構あった。妙高々原駅に着いた時の第一番目に頭をよぎったのは、<なえな小屋までたどり着けるか?>という不安であった。2日前ぐらいから台風並の低気圧が日本海岸を通過することは知っていたのである程度の覚悟はできていたが実際にゴーゴーと雪煙を舞い上げる勢いの凄さ(駅前)に圧倒され、「やべーよ、これ」と独り言の連発。7:00ごろ五八木荘に寄ったところ、“単独行”と言ったら祖父さんに止められた。その時多分、僕の顔は青冷めていただろうが、口では「いや、リフトさえ動いていれば大丈夫ですよ」と強気だったと思う。

肝心のリフトだが、国際第1高速は問題ナシだったが第2、第3高速は悪天運休であった。第3はどうでもよいが第2は困る。上からスキーで滑って行けば勢いだけで、笹ヶ峰の入口(Jバーリフトの奥)看板のところまでは行けるのに……。結局文句タラタラ。デカイ、ザックのサイドに重いアルペンスキーを装着して、猛ふぶきの中、あおられながらゲレンデを登行。こういう状況下で不謹慎にも“オレって結構冒険してるよ”などと不安の反面、ちょっとした期待に胸が踊ってしまった。

でも実際に遭難したら相当格好悪い状況だよな、多分新聞にはかなり小さな扱いで《スキー場遭難》とかいう見出しででるだろうから……。

まあ期待に反して、割と楽に小屋にたどり着いたので良かった。スキーの威力は大したものだと改めて思う。

このページは寒さで字が変だ

僕の場合、アルペンスキー(ノーマル)なので登り斜面はどうしてもハズしてラッセルせざるを得ないが、これが大きな間違いだった。いきなりスポッと太股のつけ根まで埋まる恐怖の四国ラッセル(笑)。何とかカ

ニ歩き&逆八の字でのり切ってたが……。五八木荘の祖父さんも言っていたけれど、たかが山小屋と言えどもかなり心配と迷惑をかけるので冬の単独行はやめませう(2年前の冬に3人パーティーで実際なりかけた前例有)。

あと、どうしても行きたい人は僕の経験から以下の助言をする。

- ・アルペンスキーよりもテールフリー&シールの山スキーor テレマークの方が絶対ラク。
- ・輪かんも持って来た方がいいとおもう。
- ・食糧は、かなり重量的に厳しいので秋のうちにもデポして置くと良い(小屋に入って最初ネズミにやられていないか確認したが全然OKだった)
- ・シャベルは部室か自前のものを持って来よう(五八木で借りようとしたら「お前ら持って行って返さないからダメ」と一蹴されたが何とか拜み倒して借りた)
- ・小屋の位置がウロ覚えの人は悪天時は止めた方がいい

この広い山小屋にたったひとりだとかなり寒いが、この静けさの中の孤独感は何とも言えませんねえ。最近益々都会の喧騒が厭わしくなってきた、こういう環境にはすぐに順応できるのでどうしたものかと困惑気味である。何はともあれ、今年のゲレンデまでラッセル5時間半(3人で)という小屋ギネスもの大記録を破ることもなく無事山小屋生活に入れることに感謝! *EijiIto*

平成7年12月28日 天気○

37 (以下修正)

38th 伊藤栄二

おととい、昨日と続いた荒天が嘘のように朝から青空。昨日もスキーをしに行ったが今日はいってたってもいられない。朝食もそこそこにゲレンデに向かう。午

前券だったけれど結構滑れた。天狗落としジヨクダニ(45°)。スーパーモーグル(32°)はやっぱ最高やね(ちょっとレベル高いけれど緊張感がたまらない)。午後になるとかなり荒れてコース状況が悪くなるので(技術のある人には関係ナイ)午前中にできるだけ回数をかせいだ方がいいと思う。あと、今日は笹ヶ峰の方まで圧雪車が入っていてゲレンデにでるのがめちゃ楽だった。明日かあさってあたりに誰か来るらしいので(38期・細谷主将と、岡安影の主将か?)。この天気が続けばラッセルなしで来られると思う。ラッキーだよ、本当!この天気が続いて欲しい……。ああ小屋で初日の出が見られたら最高だろうな。(3日目)

EijiIto

ているのかもしれませんが・・・。)本をじっくり読んで帰ろうと思います。

重要 ↓

話は変わるが、今年の七月の大雨でかなりの水害があったということはみんなも知っているだろう。どうもサニアントンがやられたらしいことは聞いていたが、営業していたのでホッとした。しかし尋ねてみたら、やはり被害がでたそうである。既に禅さん(29期)がいくらかカンパ(見舞金?)して下さったらしいが、僕自身も遅ればせながらしかもほんとうにささやかな寄附をしてきた。いくらでもいいからその気があったら協力してあげて下さい。いつもお世話になっているので、現役部員は特にお願いします。きっといいことがあると思います。

平成7年12月29日 天気:くもり時々小雪、夕方

から晴れ 37th伊藤栄二

4日目にして少々疲れが出、また朝から天気もあまり良くなかったので、今日一日は小屋で過ごすこととした。今まで書き綴られてきた小屋日誌なんかを目を通して結構新たな発見や共感を得るところ、反発を覚えることなどがあった。一番大きな発見は、国大ワングル最初の死亡事故丹沢での川端さんの事故については、部室にも事故報告書の正式なものが残っており、詳細は既知のところであったが、川端さんの件については噂程度の伝聞でしかなかった。部室にもない(本当はどこかに眠っているかも知れないが)ものが、小屋にあるなんて本当に歴史を感じさせる。資料は25th、27thぐらいの人がまとめた追悼会のパンフレット(今は作られていない)として残っているので(本棚の中)、現役で事故の概要を知りたい人、遭対委員、執行委員は目を通しておくと良いだろう。そして忘れてはならない教訓として後の世代に伝えてゆかねばならない。僕らの世代に今までの様にしか伝わってこなかったのはきっとどこかで誰かが怠慢をしたのだろうし、そうでないならば小さな、それが何年か積み重ねられた結果として受け止め反省しなければならぬと思う。(4日目) *EijiIto*

平成7年12月29日 PM8:40 2泊

30th 土生達也

冬にくるのは久しぶりです。誰かがいるだろうと思って着てみたら、小屋にいるのは現役の伊藤くんだけ。これまた久しぶりに現役の人とおしゃべりしながら酒をのんでいます。

彼は1人だけで4日も小屋にいるそうで 変大 いや とてもたのしい方です。学生の真剣な言葉に耳を傾けているとなつかしいような、うれしいような・・・。とても楽しいひとときです。(じゃまをし

平成7年12月29日 快晴○

37th伊藤栄二

今朝先生がお帰りになられた。そして又僕は小屋とふたりきりになった。土生先生との語り合いのひとは、あつという間の時が経ったようでとても充実していました。先生には本をじっくり読むのを妨害して申し訳なかったように思います。でも僕にとっては、山小屋でしか会うことが出来ないOBの方との出会いは山小屋の存在目的のひとつである「OBとの交流」が初めて実践できたようで感激ものでした。ありがとうございました。

また今日も快晴の中ゲレンデに出ようと思う。そして新たな訪問者が来るのをわずかに期待しながら過ごそうと思う。(6日目) *EijiIto*

平成7年12月31日

38th細谷、岡安

細谷と岡安来ました。

岡安着11:30、細谷着12:00

目的;スキー年越し

感想;あ～ ザックを背おつてのスキーはたいへんだったよ。

これからスキーに行ってきます。 38th細谷

平成8年1月2日

38th細谷、岡安

今日、細谷、岡安は帰ります。小屋の主さん あとの日々 がんばってくださいます。おれらはもう帰るわ! でも、小屋ってやっぱり あっていいね。

38th細谷

平成8年1月2日 快晴○

すかり小屋のおやじ状態

37th伊藤栄二

今朝、冬晴れの青空の下、細谷、岡安を送り出した。3日間で本当の小屋の利用価値(その一部かもしれないが)を堪能し、満喫していったようである。

生憎、昨日は悪天でスキーは満足にできなかったと思っているかもしれないがまだこれからいくらかでもチャンスはあるからね。

3人で過ごした2晩は中々良かったと思う。各人が持っている主義、主張が十分に発揮され、意見のぶつかり合い、精神の戦いがあったのではないだろうか。

そしてそれらは、ワングルや山や仲間のことばかりでなく、人生観なんかにも及んだ点で僕自身にとっても、彼らにとっても、学生らしい、このサークルにふさわしい収穫だったんじゃないかと思う。

今後、事実上執行部の終わった僕としてのワングルへの関わりは、フィールド活動(集団での)から遠ざかることになり、こうしたものが中心になってゆくことをつくづく実感した。そうやって彼らに僕らが経験してきたこともひとつの指針として与えてやることは、彼らがこれから部を動かしてゆく上で良い方向へ向ってゆくために何かしらの役に立つものと確信している。実際僕ら37期は、36期執行部からそういうモノを受け継いだという記憶が少なくとも僕自身はなかったので、次のステップを手探りの状態で模索しながらやってきて、結果的に不満の残る最後となってしまったのは、残念ながら否定できないことで、やはり上の世代が表層にとどまらないところの何かを、後代に与えてやるのは義務なのではないかと今ハッキリ意識している。

話を聞いているうちに、細谷、岡安が「それぞれ筋の通ったモノを持っていることに、大きな期待を寄せられる感じ非常に頼もしい存在であると思った。

彼らにとって今後一年がどのようなものになるかは未知数であるが、その芯を持ち続け忘れない限り、今年一年は、集団としての大きな一歩が踏み出されるのではないかと思う。

僕が述べてきたような事を決して押し付けという風に誤解することなく、他の部員とともに果てしなき探求に挑んでもらいたい。

今年一年また色々干渉するかも知れないが、僕が部に残っている限り、僕はまだ可能性に賭けていると思って聞く耳を持って欲しいと思う。

僕としてはこういった形でしかもはや部に協力できない存在になってしまったのだから、すこし寂しいが・・・。

山小屋の特異なムードは、みんなの精神を磨く上で大きく寄与していると思うので、合宿で集まった時なんか、どうかこの雰囲気にも飲まれて考え語り合ってもらいたい。強要はしたくないが、そして過言かもしれないが山小屋の衰退はひとつ部の危険の兆候であると思う。もしダメだと感じるような時は、この山小屋の存在価値が部員のつながりを深める一助になるのではないかと思う。(8日目) *EijiIto*

1996年・平成8年1月4日 天気小雪

37th 柳田史昭

今回は、スキーをやり小屋へやってきました。昨日からきていたけど、小屋に着いたのは夕方だったので今書いています。自分の他に、34期・田中さん、

松下さん、村山さん、39期・後藤君が来ています。自分以外の4人は、スキーをやりゲレンデにいます。(今の時刻 AM9:00) 自分はというとちょっとしたら笹ヶ峰の方へ行こうと思っています。それまでは、ここでの時間を楽しもうと思います。とりあえず、今回はこれで終了。あとでまた書きます。

1996年・平成8年1月4日

37th 伊藤栄二

昨日は熱が39℃近くも出て大変だったけど、今日はバファリンのおかげで何とか持ちこたえています。又調子が悪くなるとヤバイので予定を一日早めて今日帰ります。9泊10日なんとか完遂しました。近年稀にみる記録だと思いますが、ゆっくり楽しめました。又春(3月ころ)にスキーをやりに来たいと思います。EPI や食料の残りを置いてゆきます。

(10日目) *EijiIto*

1996年・平成8年1月4日

37th 柳田

自分のスキーの実力では、仙人池までがやっとでした。三本木あたりまでは、スキーをはいて頑張ってみましたが全々(電子化者註;全然)進めずスキーは断念。そこからは登山靴をはいて歩いていきました。幸運にも前方から登山者が下りてきたのでラッセルはそれほど辛くはなかった。仙人池のどまんなかで大の字にねころがり空を眺める。なかなか気分のいいものだ。残念ながら行きに時間がかかりすぎてしまったため30分くらいしかいることができなかったが貴重な時間を過ごせたと思う。帰りは、下り坂が多いのでスキーをはいて帰ってきたが、三本木から小屋までは気分爽快、5分たらずで戻ってくることができました。(19:30)

1996年・平成8年1月3日 2泊

メンバー;

34th・田中義人、松下淳朗、村山浩樹

37th・柳田史昭

39th・後藤誠史

利用目的;

スキーその他

1996年・平成8年1月12日 2泊

メンバー;

38th・細谷慎一、加納伸哉、岡安貴裕、神谷信貴、伊藤剛司、堀 環

39th・四方 領、竹内めぐみ、後藤誠史
以上9名
利用目的；
雪おろし

今回は、第1回（'96年）の雪おろしに合宿として
きました。昨年の今時期よりも雪の量が多くて9名で
はたいへんでした。やはり、精神的に疲れてしまい、
小屋には申しわけないが、終わりませんでした。ごめ
んなさい。

本当に今年は雪の量が多いみたいです。次回くる時
（2月下旬）には、こんもりしたお山になっているの
ではと、期待と驚きを今から思ふ。 細谷

周囲は魔の山と化し、氷点を下回るこんな極寒に、
レ・ミゼラブルの雪国にできた氷壁くずしで冷えた体
を暖めるため、取りあえずダンス・ダンス・ダンス。
食事の時間も沈黙の春。ただ、睡眠だけが桜の園。つ
てことも無し (19:30) 筆者不明

1996年・平成8年1月13日 2泊

33th・ふじい、横井
さがみね方面でのおあそびにやってきました。
ついたところ 若い人達が たくさんいて 若い エ
ネルギーに 改めて おじさんであることを 認識さ
せられました。

さいきんは 笹ヶ峰方面にスノーモービルが 出入
りしているためとレースがついてらくではあるが は
ねられないか心配である 判読しにくいサインあり

1996年・平成8年1月15日

また遊びに来ました。部外者宿泊最多だと思います。
誰かCX (電子化者註；多分Checkの意か) とかする人はいない
んですか？2月の連休もまた来る予定です。

元33キ 横井

1996年・平成8年2月10日 2泊

メンバー；L 藤井謙一郎 (33rd)
SL 横井英記

目的；雪おろし

本来はスキーをやりに来ましたが、ここ1週間の大
雪の為に小屋がうもれた為に雪おろし隊へ目的変更。
入口も見えない状態の為、ストックで穴をあけ 滑り
おりにスコップを持ち出す。小屋に入ると奥には雪
が入りこんでいた。非常に寒い2晩だった。これから
国際スキー場を何本かやって温泉に入って帰ります。

ところで車買いたい人いませんか？
ブルーバードSSS アテーサ・リミテッド (元年式)
検 9年6月
昨年6月ディーラー中古屋で購入。現在 51,000km走
行 (購入時 40,000km)
装備；AT、フル、CD、アルミ、+スタッドレスタイ
ヤ、スキーキャリア等
価格 43万円程度希望
連絡先 052-783-6000 (寮)
-6032 (個人)
204-6055 (会社)

上記の車については、値引き交渉余地あり
言い値で買うべからず フジイ
例：本体 20万+和田町で飲み放題、食い放題5回
本体 30万+横井 YW 殿堂入り
本体 35万+横井にコギャル紹介
+オールナイトでふいばー
本体 36万+苗名小屋宿泊代永久免除
しゃれにならん雪じゃった などなど

1996年・平成8年2月21日 4泊

34期・田中義人
目的：スキー 雪おろし 現役部員との交流
感想：久しぶりの長期滞在だったがあつという間の4
泊であった。

1996年・平成8年2月29日

3泊~9泊まであり、図に書いて詳細に説明あるが、今回は
図を省いてまとめた。

記入者不明なるも字体から36期・細谷氏と推定

36期

細谷：春小屋+雪上+スキー 7泊8日 (雪上含)
加納：春小屋+雪上 6泊7日
岡安：同上 6泊7日
神谷 (チャーリー)：同上 6泊7日
伊藤 (つよし)：スキー+同上+スキー9泊10日 (雪上含)
堀 (ボリ)：雪上 3泊4日 (雪上含)

37期

赤羽：スキー+春小屋 3泊4日
後藤：スキー+春小屋+雪上+スキー 7泊8日 (雪上含)
池田：春小屋+雪上+スキー 6泊7日
関：春小屋 3泊4日
竹内：春小屋+雪上 3泊4日 (雪上含)
山崎：スキー+春小屋+雪上 6泊7日 (雪上含)
水野：春小屋 3泊4日

2/23~2/26において春小屋合宿 (雪おろし、
遭対訓練等) を行いました。

2/27～2/28において雪上ツアー（なえな小屋～京大ヒュッテ）を行いました。

滞在期間9泊10日の人もいる春小屋でした。長いだけあって、いろいろなことをやりました。来てみれば小屋は一部破壊されていたりもして、今年は本当に雪が多いと実感しました。

1996年・平成8年3月1日 PM7:00

38th・伊藤剛司

今日で小屋泊まりは9泊目、みんなが帰ってから2日たった。昨日は細谷がいたが、今日は僕1人。小屋で1人であるのはさぞかしさびしいことであろうと思っていたが、さびしく感じたのは、スキーから帰って、小屋に入るときの一瞬だけ。玄関から見る部屋の中には、いつもはいるはずのみんなが1人もおらず、自分をまわっているのは、ストーブだけであることに気づき、はっと我に帰った。しかし、石油ストーブに炎をともし、電気にスイッチをいれると、自分の部屋と変わらないような気がしてきた。ただ、なにかがもの足りない。それは“音”である。小屋のそとでは、雪が降っているのだが、雪の降る音というものは存在しない。雪は、静かにもくもくと降り続き、そして、じわじわと積もっていく。雪というものは、いったん外にでると、ものすごい存在感をアピールするのだが、中にいると、まるで存在感のないものであることに気づいた。ふと、ウイスキーのお湯割りを飲みながら思った。「こういう雪のような人間って、かっこいいな」。しかし、よく考えてみると、いままで自分がTVで見てきたヒーローは、ほとんどこんな感じの人物であることに気づき、あ然とした。「なんてことだ、ヒーローの原点は“雪”なのか。そういえば仮面ライダーの本郷タケシは、普段は普通の青年であるし、スーパーマンも、普段は、サラリーマンだ。」しかし、さらに、よく考えてみると、ウルトラマンは、この例に当てはまらないことに気づき、またあ然とした。なぜかというウルトラマンは、変身前も、地球警備隊の一員として職務を果たしているからである。よって、ウルトラマンはヒーローとして認めません。 おわり

1996年・平成8年3月13日 記

37期・佐々健太郎

メンバー：

37期・佐々健太郎、柳田史昭；8日～14日

元37期・榎原哲史、結城耕；8日～12日

利用目的：

スキー

- ・ リフト券をノートにはさんでおきます。使ってください。赤倉・池の平共通回数券1枚 杉の原高速リフト券1枚
- ・ 妙高高原町指定ゴミ袋をEPI 缶の脇においておきます。

只今、21:30。こたつの向こう側では柳田が寝ている。自分はランタンの光でこの日誌を読みつつ、牛肉の大和煮を酒のさかんに“ゆきひめ”を飲む。これ人生の喜びなり。

最近読んだ本について一言。遠藤周作「わが青春に悔いあり」これはおもしろい。例えば、彼が学生時代下宿していたアパートでの話。夜になると上の部屋から毎日「うっ」とか「アッ」とか「うなる」音が聞こえてくる。なぜでしょう？決してこの部屋の住人が宗教関係の人だったわけではありません。そこの読んでいるあなた心当たりはありませんか。そうです、上の部屋の住人は、その日の出来事を想い出して。夜な夜な後悔していたのです。心当たりのある方は遠藤周作の友です。私の友です。話はすこしそれますが、遠藤周作は今、入院しているそうだがやはり死んでしまうのだろうか。

1996年・平成8年4月27日 滞在3分

22期・鴨志田

すごい雪で小屋の中に入るのもたいへん。昨夜深夜行日帰りで火打に行く予定がサンアンカントンの下までしか車が入れず、三田原に変更。小屋がつぶれていないので一安心。 滞在 3分

1996年・平成8年5月3日 2泊

新歓小屋です。(電子化者註；新人歓迎合宿・苗名山小屋を現代風に省略した4文字でしょう)

メンバー：

38期・細谷、チャリー(神谷)、岡安、つよし(伊藤)

39期・後藤、池田、竹内、山崎、関

40期(新1年生)・渡辺、徳本、鈴木、森嶋

37期・佐々、堀越

OB36期・大池、岡村

OB35期・土方

OB34期・田中

19名

新人生(4名ほどですが)(まだいるんですよ)と共に、なえな小屋に来ました。小屋に対する新人生の印象もいいようです。(思っていたよりも広いですby 森嶋)

夏(予定：7/19～22)の大掃除する時に、小屋の修理をします。また、この小屋を利用する人が増え

て、小屋も幸せだと思う。

38期・細谷

38th・5人、37th・2人、40th・4人
(11人)

1996年・平成8年5月5日 (水)

本棚の脇にゴムボートをおいておきます。仙人池にでも浮かべて下さい。

37期・佐々

1996年・平成8年5月12日

30期笹倉です。5月からパラグライダー(くろひめで)を再開したいので小屋に来ました。今年の新入生はもう40期になるのですね。10年たつのがあっという間です。今年の雪で小屋の裏の戸がこわれていて雨戸がたおれていて小屋が開けっはなしのようになっていました。費用が必要なときはOB会の中から出しますので、禅か笹倉まで言って下さい。

(宿泊 OB1人+部外5人)

1996年・平成8年5月25日

30期・笹倉+海洋OB3名

1996年・平成8年5月25日

21期・籠橋

15年振りに、両親を連れてやってきました。入口がわからなくて、ちょうど作業中の五八木荘の岡田さんに会い、カギをもらいラッキーでした。

小屋の中もきれいで、現役の皆さんありがとうございます。

1996年・平成8年6月23日

30期・笹倉+海洋OB6名

1996年・平成8年7月14日

30期・笹倉+海洋OB4名

(ログハウス用に作ったベンチをおいておきます。

あと、石油ランタンX 2)

1996年・平成8年7月19日 2泊

22期・鴨志田岳志

一家3人と友人一家3人の計6人で、夜到着。

1996年・平成8年7月19日 3泊

夏小屋合宿

参加人数:

1996年・平成8年7月22日

記入者不詳 (上記合宿者の誰かが記載)

大掃除は終了。

今回は、3日とも晴れて、掃除にはよかった。ところで小屋だが、けっこう老朽化してきました。今後所々 壊れると予想されますので、注意して修理してあげましょう。

1996年・平成8年8月16日 記

30期・土方

昨日小屋にきたら、誰もいませんでした。笹倉くらい来ていると思ったのに……。とっていたら鴨志田さんがおみえになりました。子供さんも一緒に、ほのぼのとした小屋になりました。

鴨志田さんへ

夕飯ごちそうさまでした。お礼も言わずじまいで申し訳ありません。

30th・土方

1996年・平成8年8月16日

10期・村田尚雄ほか家族3人

久し振りに山小屋訪問。30年前の建設当時を思い出します。30年前より山小屋が良く整備されひと安心致しました。後輩たちも大事に守ってくれていて、嬉しい気分になりました。今日は、女房と娘二人で訪問しました。

現住所:新潟市川端町3-15-1 コープ野村川端町A-705

S45年卒・村田尚雄

1996年・平成8年8月16日 (金)

27年前に夫とはじめて会った国大山小屋。その時のノートがまだ残されていたので驚き嬉んでいます。山小屋がとてもきれいに使われていたので感謝します。

フェリスWVOG 村田敏子(旧姓・森)

1996年・平成8年8月16日 記

22期・鴨志田岳志、24期・鴨志田周子、文
昨日から一泊し、今夜は笹ヶ峰でキャンプする予定。明日また戻ってきます。

1996年・平成8年8月17日

22期・鴨志田

昨日は、雨まじりの天気でしたが、夕方晴れてきたので、笹ヶ峰に行ってキャンプをしました。親子3人バーベキューをしながら気持ち良く過ごしました。

今夜は笹ヶ峰か、飯綱あたりに泊まる予定ですが、天候次第では、小屋に泊まるかも知れません。その節はよろしく。19日頃まで、この近辺にいるつもりです。

1996年・平成8年8月17日 3泊

30期・笹倉

夏休みにパラグライダーにきました。土方とはちょっとあえなくて残念です。小屋もそろそろ本格的に修理か建替をしなくてはなりませんね。

1996年・平成8年8月19日

22期・鴨志田

今回は、16日に小屋に1泊してその後、笹ヶ峰牧場で3泊しました。天気も良く、Out Door Lifeを満喫できました。初めて笹ヶ峰に泊まりましたが、なかなか気持ち良いキャンプ場でした。

*ガスコンロのゴム管をそろそろ交換しませんか。小屋で爆発なんてことのないように。。。。。

また機会をみつけて親子で着たいと思います。

1996年・平成8年8月18日 2泊

(元) 33期・横井

ツーリングの途中 寄らせてもらいました。同じ時期に沢山の人が来られてた様ですがお会いしたのは笹倉さんだけだったのは残念でした。

1996年・平成8年8月21日

記入者不詳だが字体から (元) 33期・横井と推定

予定が変わったのでまた小屋にもどってきました。五八木へあいさつに行き、小屋の話をしてきました。今年の冬の小屋の管理などずい分お世話かけていたようです。

1996年・平成8年8月24日

34期の田中です。今年の4月から長野に住んでいます。小屋に近くなったけど、長野にきてからは40期の新歓小屋にきただけで今回が2回目です。久しぶりに土、日が空いたので小屋でのんびりしようと思い、きました。一晩泊まる予定です。長野を出るころは晴れていたけれど だんだん空があやしくなり、きりさ

めがふっている。おまけに寒くて小屋にきてまずしたことは石油ストーブに火をつけたことです。仙人池で泳ぐつもりでしたが とても無理そう。明日は暑くなるといいね。

小屋を訪れたみなさん、長野にいる私を是非訪ねて下さい。連絡先は以下のとおりです。

自宅：長野市三輪2-17-5 026-244-83200

勤務先：長野地方事務所総務課 026-234-9505 (内戦2143)

4時に小屋に着いて明るい間は本を読み、暗くなって一眠りし、めしを食ってまた少し本を読む。読み終わるともはやすべきことは一つもなくもの想いにふけるだけだ。。。。。こういう時間って 社会人になってからほとんどなくなった。何もすることがない小屋に来ていろいろ考えることは今の僕には非常に有益である。

時折ねずみだか虫だかが動くその音にびっくりする。独りの小屋は結構怖い。外は雨が降っている。

長野は空気が乾燥している所である。5、6月は東京じゃめったにないようなさわやかな日が毎日続いたし、夏の暑さも東京とは全く違って、日中は空気が乾いているからやけるような暑さだ。そして夜になると割りと涼しくなる。寝苦しい日はほとんどない。それなりに過ごし易やすいのだが、東京の全身を包みこむようなむした暑さがたまに恋しくもなる。お盆をすぎて朝晩めっきり涼しくなり早くも秋の気配が漂う。足早に夏が去って行き寂しい。

1996年・平成8年8月25日

昼過ぎまでねていた。1時に起きて仙人池まで走って池で泳いだ。小屋の気温が16℃だったので泳ぐのはとても無理かなと思っていたが、水が割りと温かだったので泳ぐことができた。池を一往復した。帰りは歩いて帰る。白樺の林がいい。しかし車の往来がひっきりなしだ。最近笹ヶ峰に来る人が増えたような気がする。戻って少し休んで長野に帰ることにする。石油ストーブを使ったので宿泊料200円払います。ではまた。

34期・田中義人

1996年・平成8年9月16日

30キOB 笹倉+部外2人 泊

来週泊まる皆さんへ

気をつけて良い週末を過ごして下さい。

1996年・平成8年9月28日 1泊

38th・細谷
部外者 (国大海洋学科)

江崎、桜井、平川、畠山、吉田

- ・ 妙高山に来たついで。
- ・ 夜はけっこうすごい酒飲みだった。

38th細谷慎一

すみませんよっばらいです。 K Sakurai

1996年・平成8年10月12日

1泊

元33期・横井

本当は笹倉さんに紹介してもらったパラグライダーをやりたいのですが、外は雨が降っています。で、仕方がないので観光をしました。ワングルの時代を含め8年目の妙高ですが初めて戸隠神社(中社)に行きました。明日も天気予報は雨。ゆっくりと本でも読んで過ごします。

10月13日帰ります。ついでにERI ガスカートリッジを置いていきます。(27)使ってください。確かに電池ランタンは簡単便利だけれど ガスランタン、ローソクもまだまだすてたもんじやないと思います。

1996年・平成8年10月26日

星野高弘サンという手足の不自由な人の詩画展が野沢温泉村で催されていて、その帰りに思いついて小屋に寄りました。下は雨だったのに車を降りるとみぞれになっていてビックリ。冬はもうそこへ来ています。小屋に着くとさらにおどくことにふとんがしいてありました。人はだれもいません。パラグライダーをやりに来ているのでしょうか。暗くなる前に帰ります。

横井さんこんにちは。今度小屋に来たときは是非長野の僕を訪ねてください。久しぶりに会いたいです。

34期・田中義人

①1996年・平成8年10月26日

1泊

②1996年・平成8年11月3日

1泊

③1996年・平成8年11月23日

1泊

田中君がきていたのですね。昼間留守にしている残念でした。26日の夜から雪になって一晩ですっかり冬小屋の気分になってしまいました。雨戸のところをとりあえず修理したので冬は大丈夫だと思います。春になってからガラスを入れて下さいね。

①30期・笹倉+海洋学科OB3人

②30期・笹倉+海洋学科OB4人

③30期・笹倉+海洋学科OB5人

1996年・平成8年12月21日

冬季一番乗りですか? 34期・田中です。今日はプラブーツのこけらおとしとして三田原山に登りました。時間がないので途中で引き返しました。

佐々 他みんなへ 正月は来るんでしょう。帰りにでも電話してよ。泊まりにおいて。

34期・田中

1996年・平成8年12月28日

30th・笹倉、土方

ひさしぶり(2年ぶり)に冬小屋に来ました。同期の土方も来ています。まだ雪もそれ程なく寒くもないしです。冬小屋にしては良い方だと思います。炭がないので来冬からは少し補給してくれたらと思います。

OB名簿が一応まとまりましたので、新年に各OBに配布したいと思っております。小屋にも4部置いていきますので、御自由に持ち帰ってください。

P.S.

横井君が来ていないのが残念ですが、小屋行の件で、又、メール頂ければと思います。 30キ・笹倉

笹倉は6時ごろ もうまっ暗になってから来ました。下から歩いてきたそうです。どうして奴はそんなにパワフルなんだろう。酒をのんで、本を読んで、いい小屋になりました。

30期・土方

1996年・平成8年12月30日

36thの渡辺です。現在 大学院M1です。

今年になって、きっかけは何だったのか忘れてしまいましたが、テレマークスキーをやろうと思いたちました。高校や大学のワングル友達に話してみると、「オレもやりたいんだよなあ」とか「ボクも昨シーズンからやってるんですよ」と言う奴らが何人か居ました。

それに励まされ、わずかな貯金をはたいて用具を一式買い。M1の気ままにもたすけられ、遂に今日が初滑りとなったのです。今日は赤倉のテレマークファミリーズの講習会を受けてきました。先生は確か「ウガ」さんとかいう若い優しい男の先生で、(どこか37期・石附に似ているよな一な)、私が「先輩や後輩もこちらで講習を受けたことがあるんですよ」と言ったら、「じゃあ、横国の人？みんな上手になったなあ」と言っておられました。今日の受講者は、午前中が私1人、午後も3人とすくなく、よく面倒を見てもらったのですが、テレマークのテの字も滑れるようになりませんでした。先生に申し訳なくなっています。

さて、講習会が終わった後、赤倉で復習のためにもう1本滑って、バスでは到底間に合わないの、タクシーで杉の原に来ました。赤倉のリフトが16:30までだったので、こちらも同じと思ったのがまずかった。今日の第一高速は16:15まで、私が乗り場に着いたのは、16:17でした。でもまだ点検だか整備だかのためにリフトは動いていたので、うらめしそうに「もう乗れないんですか?」と言ってみたところ。「上に泊まるの?じゃあしょうがないね」と言ってくれました。しかもタダで。感謝感激雨アラレ。しかしその先のリフトは動いているはずもなく、歩いていくことに。ゲレンデは時折急斜面があって、テレマークでも今の私の技術では無理そう。

車道を辿ってくることにしたのですが、霧が濃くて先が見えず、途中ゲレンデに出たところでは道を見失いそうになるし、考えていたよりも遠くて、このまま遭難するんじゃないかと思ひながら歩いていました。ただ、雪上には小動物の足跡に混じって人の足跡やスキーのトレースもあり、これは小屋に行く人のトレースに違いない。

小屋に着けば誰かがいて、ストーブやコタツをつけているかもしれないと励ましながらきました。最後に車道から小屋までの小道も、一応確認して入ったものの、なかなか見えない小屋に半信半疑になり、深い雪に足をとられて転んだ時は、この道が小屋へ行く道でなくて、このままたおれていたら、本当に死んでしまうんだろうなと思いました。さらに疑いを深めながら、歩みを進め、五八木のおじさんの物置が見えた時の嬉しかったこと。そして我が苗名小屋の勇姿。結局小屋には誰も居ませんでした。でも玄関に立ったとき、自分のヘッドランプが奥の鏡に反射して見ると、一瞬「あっ」と思うよね。それからまずストーブを点け、持参した豆炭に火をつけ、コタツを組み、お湯を沸かし、小屋にあった甘い粉末レモンティーを戴きながらこの日誌を読んだのでした。エイジも第一の終点から来たことがあるんだね。笹倉さんは下から歩いてきたんですか?スゴイ。

今回の小屋は私にとって1年9ヶ月ぶりです。お久しぶりです。前回は自身3度目の雪上ツアーに参加した時でした。その後、いろいろ不穏な噂を聞きましたが、ちゃんと建っているじゃないですか。今日は初めて1人で泊まりますが、よろしく。明日には高校の友達、国大の後輩達が来ます。にぎやかな大晦日、お正月になりそうです。そろそろ飯食って寝ます。

20:40 たかし

1996年・平成8年12月31日

8:00

おはようございます。7:00にアラームをかけたのに、やはり起きたのは7:30でした。今朝の気温は0℃、寝ていて寒くはありませんでした。昨日汗でぬれていた2℃の方が余程寒かった。

今日は相模原高校時代のワングルの友達を初めて小屋に招待しています。サンアントンまで迎えに行きます。

佐々、柳田、栄二、先に来ていたら、いらっしやい。
たかし

1996年・平成8年12月31日

(4泊5日の予定)

OB 37期・佐々健太郎、柳田史昭

OB 38期・伊藤栄二

今回の目的は、ズバリ山スキーである。昨年の10日に及ぶ小屋滞在で脱ゲレンデを誓い、早速今シーズン実践となった。事前に数回にわたるミーティングを行い、コースを三田原山山頂日帰りとする。

佐々はテレマーク、柳田は山スキー、栄二はアルペンスキーを山スキー仕様にしてのトライである。昨夜急行妙高で深夜上野を発ち、早朝、妙々原駅に降り立った。驚いたことに昨シーズンよりも5日遅れでの妙高訪問にも拘らず、比較にならない程の温暖さである。あの駅前の猛吹雪は一体どこへ?この状況から察するに最も心配すべきは積雪量である。一路バスは杉の沢に向う。心配が的中した。かのような積雪量の少なさで、僕自身が妙高へ訪れた中では最少である。初の挑戦は中止に追い込まれるのかと不安がよぎる。しかし、その不安をよそに、本日の天候は快晴。まさに雲ひとつない青空。春真ただ中のような、汗をかき期候であった。背中から湯気を上げながら一年振りの苗名小屋へと急ぐ。小屋を一步入ると、一階の中央にドーンと蒲団が敷いてあった。36期の渡辺さんは予定通り、昨日入小屋しているようだ。

我々は午後の予定を池の峰方面への偵察及び山スキ

一の歩行訓練と決め、正午過ぎに小屋を後にした。クライミングサポート（登高器）とシールの威力は想像以上で快適なツアーとなった。読図をしつつ、池の峰へと向ったが如何せん、この雪の少なさである。しかも湿雪で、スキーを撰られつつの前進、度々ブッシュに行手をはばまれ、最終的には池の峰には達することはできず、沢の途中で午後2時過ぎに下降に移った。林道に出たからは、シールも外しての滑走、悪雪で必ずしも心地よいものではなかったがわずか10分足らずで苗名小屋に帰還した。

それにしてもつくづく現役を退いての体力の衰えを痛感する次第である。登行では佐々、柳田に大きく遅れをとり、大きく足を引っ張った感否めない。天に大きく突き上げる妙高山塊、殊に三田原山を眼前に見据えつつ、日帰りとはいえ、あの頂へのチャレンジは少々無謀かとの思いが一瞬よぎる。事前には新雪表層雪崩への懸念が拭いきれず、佐々とはコース選定を巡りしばしば意見が対立したが、どうやら今回に限っては、雪崩よりも積雪量の方が問題の核心となりそうである。それとあと天気、どうもこの時期の妙高はほとんど晴れることがないらしい。(残念だ)

ドカ雪を期待すれば荒天は必至、雪崩の心配も募る。しかし好天を期待すれば、どう考えてもこの積雪量では滑降は不可能である。“山は決して逃げない”と良く聞く言葉を自分に言い含めるように語り掛けつつこの二律背反の葛藤に頭を痛めている。

折角ゼーコンもレンタルで借りて、ゾンデ棒も購入、山スキー対応用具一式を買い揃えたのに、このままでは不甲斐無さのみが胸中に去来するのみである。

一応それなりの訓練をしてこの山小屋訪問を価値あるものと思いたいと思う。

そして何よりも自然との調和を楽しむことに重きを置きたいと思っている。

OB 38th Eiji Ito

OBとしての意見

- ・小屋の利用の利便性を考えて、苗名小屋に電気は必須である→発電機を導入すべし
- ・やはりあの大きな丸型ストーブがないと寂しい。
やけに山小屋とマッチしていただけて特に
→新しいものを買ってくれ
- ・マントルとか豆炭とか蛍光灯がなくなっているとは
どういうことだ。小屋ギネスに挑戦してトイレッ
トペーパーを大量に運ぶのは良いか
先ず必需品をちゃんと常備してくれ!
- ・床に穴が空いていたり、雨戸が崩壊したり、年々山
小屋がすさんでゆく様を見ていると心が痛む。
→応急処置でなく適当な修理を施すこと
自分が委員長の時になかったことだがどうか宜しく
頼む、なあ 池田君! 記載者未記入なるも Eiji Ito

1997年・平成9年1月1日

賀正

門松の絵あり

あけましておめでとうございます。私は渡辺隆史の友人の木河と申します。都立大学の山サークルに入っていますが、こんな山小屋は持っていません。伝統のある部活にはみんなこういった小屋をどこかしらもっているようでうらやましいです。明日まで楽しんで帰ります。

1997年・平成9年1月1日

渡辺隆史の友人の高屋敷洋史

こんなに小屋に来るのに疲れるとは思わなかった。こんな所に小屋を建てたのは誰だ!しかしこんな所に小屋を建てたことはエライ!ということでこの素晴らしい小屋の今後のますますのご発展を心から祈ります。

1997年・平成9年1月1日

同じく渡辺の友人の小磯俊一郎

12月30日の夜から寝ないで車を運転してきて、雪の中をザックを背負って歩き、やっと山小屋で休めると思ったら、夜中の3時すぎまで麻雀を打ってしまいました。眠いです。でも、楽しい正月です。

1997年・平成9年1月1日

あけましておめでとうございます。私は早大大学1年の守屋寛之と申します。渡辺君とは高校WV部の同期で、今回の年越しにこの山小屋を使わせていただいております。私も学部時代は「T.E.A.」というインカレの登山サークルで山をやりました。

しかし、こんな山小屋を所有など、とてもできそうにないです。T.E.A.は8月の頭ごろ毎年北アの槍でさわいでいるのでもしめいわくをかけるようでしたら、しかってください。

話は変わりますが、私も山スキーの道具を買って、今回、遊びがてら使ってみました。最近、運動もまともにしていないのでたいして登ってないのにかなりつかれました。体はきたえなくてははいけませんね。あと1日滞在させていただきます。小屋の管理は大変そうですが、がんばってくださいね。

1997年・平成9年1月1日

同じく渡辺様の友人の小松田薫

私はA&Dという会社の社員です。高校のときWV部に

入ってました。この山小屋のおかげでたのしい正月が過ごせそうです。

1997年・平成9年1月1日

私も渡辺君と一緒にきました柳下克己といひます。もうすぐ小屋を出る所です。思っていたより立派な小屋で良かったです。

1997年・平成9年1月1日

私たち 相模原高校 W 部 26th OB は、毎年お正月と一緒に山に登っていましたが、今年は苗名小屋に来ました。お世話さま。

ビール2缶とジョニ黒半瓶置いてゆきます。小屋にも入れておきます。

佐々達へ。

騒がしかったかもしれないけれど、楽しませてもらいました。あと数日、静かな小屋を楽しんでください。また、スキーにくるときは、声をかけてください。

ナベは沸騰しました。

あらかた、片付けたつもりですが、落ち度があったらごめんなさい。あとで言って下さい。

でわ。

36th 渡辺

OB 36th・渡辺隆史 12/30～1/2 3泊
部外 高屋敷洋史、守屋寛之、柳下克己、小松田薫、木河政幸、小磯俊一郎

12/31～1/2 2泊
計7名

1997年・平成9年1月3日 (FRI)

佐々健太郎

柳田史昭

伊藤栄二 計3名

笹ヶ峰まで行ってきます。(1泊2日)

(ビバーク訓練) 11:00am 出発

1997年・平成9年1月4日 (土)

‘96 12/31～‘97 1/5までスキーのため
滞在

僕の行きたい山

・成瀬川源流 (雄物川水系)

登山レベルはそれ程高くなく現実味を帯びた山行、

ダム建設計画があるらしい。なんとしてもダムが出来る前に行きたい。

・皆瀬川源流 (雄物川水系)

今年 沼沢沼に行きそびれたので沼沢沼にはなんとでも行きたい。温泉が流れているという赤湯沢にはいつか行きたい。レベルは相当高いので将来目標だ。

・羽後朝日岳

和賀山塊の秘峰。隣の薬師岳、和賀岳と共に沢と縦走を組み合わせて行きたい。レベルは皆瀬川以上。

・日光白根～皇海山県境尾根縦走

朝日～巻機縦走に続いて行きたい。

(’95に行った)

・白砂山～苗場山縦走 (佐武流山)

残雪期に行きたい。ちょっと柳田や、ガイドブックに影響されているかも。

・白馬～親不知

マイナーな北アルプス

・矢筈山塊

これはかなりガイドブックに影響されている。

・北千島 阿頼度山 (その他の千島列島の山々も)

伊藤秀五郎「北の山」に影響されている。

“「北千島の阿頼度山は夏でも全山、雪で覆われている」と故工藤博士は言っている”。

現在、ロシア領。北海道最高峰 旭岳より標高が高い。利尻と同じように島＝山。

・沿海州の山々

ロシア領。原生の自然が残っている。魚釣り放題。レノック、イトウ、等々。連峰最高峰でも2000m程度だから標高は高くない。同じかも。

・樺太 (の山々)

「大泊に流れている川には、登ってくる鮭をねらってイトウがパクッと口をあけて待っている」

山スキー
秋田駒、栗駒、三田原、等々

相模原高校の人たちは実に誠実な人達だ。ゴミは持っていつてくれるし、ビールは置いていつてくれるし。ただ麻雀ばかりやっていたなあ。

(37期・佐々) 既にOB

1997年・平成9年1月4日 (土)

昨年12月31日に小屋に来てから今日で5日目。明日帰る予定なので、ちょっと小屋に来てから思ったことを書いてみようと思う。

まず残念だったのは、現役のワンゲル部員が一人もこなかったという事。小屋の中でコタツに入って暖まっているときに、ドアが“ガラッ”と開き入ってくる

人達に「いらっしゃい」、そんな言葉をもって迎えたかったが・・・。

小屋で過ごす雰囲気は何ともいいものだ。目的を持ってくるもよし、ただ何となく来るもよし、寝るもよし、夜遅くまで語りあうもよし。ここへくると下界とは違った価値観を味わうことができる。

2年連続で正月に小屋に来たが今年は全体的に雪が少ない。いつもは埋まっている道路標識のポールも約1.5mほど飛び出て、いささか残念な思いをした。計画していた三田原山へのツアーは中止になってしまったが、笹ヶ峰でのビバーク訓練は実施した。こんな調子で書いていても何の面白みもないので小屋についての事はここで終了。

個人的なことで最近写真(とりわけ報道写真)にこだわらだしている。昨年、東京都写真美術館で「ユージン・スミスの世界」という写真展が開かれた。残念ながら忙しくてそれを見に行くことができなかったが、彼の作品は何度か目にしたことはある。なかでも水俣病を題材にした作品は印象に残っている。(この水俣の一連の作品には、スミスの依頼をうけて、稗吉敏子が「水俣」という曲を作った。)これらの作品は、よくある悲惨さや絶望感といったものを表現しているだけでなく未来への「希望」「勇気」そういったものを感じさせる。これは自分一人だけでなく他の人もそう思ってくれるものだと思う。機会があったら見て欲しいと思う。あと 共同通信社の吉田さん(多分そうだと思う。)が撮った「地を這うように」という写真集もおすすめします。

3月にまた小屋に来る予定です。その時には 誰かに会えることを期待しつつ。

37期・柳田

*昔の山小屋日誌は本棚の最下段に有ります。

37期・佐々

1997年・平成9年1月31日 1泊

目的: スキー

利用者: 佐々健太郎 (37期)

正月には雪が少なく、テレマークスキーの練習が殆どできなかったので、この時季に無理して来ました。赤倉のテレマークのスクールでは生徒が私一人でマンツーマンの指導を受けることができました。緩斜面ではどうやらテレマークターンが出来るようになった感じですが。春にはスキーツアーに出られるよう、明日半日、池の平でさらに練習するつもりです。

ちょっとカッコつけようと思って一人で小屋に来たけれど、一人ってのはやっぱり危険な面がある。酒飲んで居眠りしたら誰もストーブは消してくれない。し

かし一人の小屋って1泊くらいなら実に気分のいいものだ。

1997年・平成9年2月8日 2泊3日

テレマークの足ならしの為に来ました。社会人をしていると つい楽なゲレンデスキーをしてしまう傾向あり。今日(9日)、笹ヶ峰まで往復しただけでも1人だと結構疲れる。

冬小屋に1人で泊まるのは久しぶりのこと。星もキレイで良いものです。先出の田中(34キ)と同様、何もしない時間が欲しいと思う時にはフト小屋のことを思い出します。

笹倉さんへ 名ボ作成 ご苦労様でした。1部いただいています。(33キへ配ります) 33rd 分で修正が何ヶ所かあるので又連絡します。

(ちなみに私のアドレスは CZG07042 です) 藤井、木村、合掌、大西さんもアドレス有ります。

提案: 各期代表を決めて本気で名ボ作成したらどうでしょうか?

OB にとっては各地で横の連絡が可能に。現役はリクルート活動に使えるのでは?

But 時間をもてあまし小屋日誌を読みかえすと気付くことは1つ。現役がいらない。

登場するOBも決まった面々。(顔は知らないけれど何となく彼らのことがわかる気がしてくる)

「小屋って何なのか」 現役(38～40期)+37期で酒のサカナの話題にしてみたら?

利用者: 横井英記

(元 33期)

1997年・平成9年3月1日

34th 田中

佐々、柳田、栄二と同じ野望を抱いて小屋にやってきました。

山スキーで三田原山登頂です。今年1月に山スキーを購入。数回のゲレンデでの練習と東信の烏帽子岳です本番を経験した上でのちょうせんです。ここへ来て気温がぐんと上昇したのでなだれが心配。でもあしたは冷えこむらしいので大丈夫かな。詳しくは明日帰ってきてから・・・。

現役の連中がこの時期入っていると聞いたので来てみたらだれもいないし、来た様子がまるでない。一体どうなっているんだ楽しみにして来たのに。

5月のG.W.のときはちゃんと来いよ。そして俺様を招待しろ。

佐々、柳田、栄二へ

正月に来た帰り ひょっとして連絡くれた？俺、事情があって実家に帰っていました。ごめんなさい。今度来たときは是非寄ってくれ。長野でうまいものをごちそうするから。

1997年・平成9年3月2日

三田原山登頂成功

小屋 ———三田原山———小屋
7:17 10:50 11:10 12:40

天気に恵まれ無事帰って来ました。頂上は風が強くて長居はできなかつたけど……。滑降も思ったより楽しくて山スキー自身も好感がもてた。

ではさようなら

34th 田中

1997年・平成9年3月5日 晴れ

34th 田中です。日曜日に帰ったはずなのにまた来ている。昨日夕方後藤から電話があって独りで雪下ろしに行くとのこと。独りではかわいそうなので仕事を休んで手伝いに来ました。

1997年・平成9年3月5日

はれ のち くもり

今年初の現役、39期の後藤です。ワンゲル内部がゴタゴタしていたため、今年の春小屋は延期、雪上は中止しました。雪上楽しみにしていたのに。でいいかげん雪下ろししないとヤバイと思ったのですが、皆の都合がつかない。それならもう、一人でも行ってこよう！と思い、横浜を出発しました。16:33上野発という上越線に乗り、長野についたのが21:20。最初は妙高高原駅で寝ようと思っていたのですが、折角だから田中さんと連絡をとってみようと思い、電話したところ、泊めてくれるということで、喜んでお邪魔させていただきました。しかも仕事を休んで、雪下ろしを手伝ってくれるとのこと。もうなみだが出そうなくらい嬉しいです。予想通りというか、柱の一本も出せませんでした。次回が楽になるとは思います。

現時刻は18:50。田中さんはとっくに帰り、今は一人です。外はもう真っ暗。風の音が少しとランタンのガスの音、ストーブの炎の音が少しするだけで、

辺りは完全に静寂に包まれています。一人でこんな環境にいるのは初めてです。時折雪が崩れて小屋の壁に当たってドカッと音がするとビクッとします。とはいえ、屋根の雪が崩れ落ちて入口が埋まると僕は出れなくなる……。結構ドキドキしています。もしも、場合を考えて、無線機だけは持ってきたのですが、そうならないことを祈っています。

僕は明日の夕方帰りますが、土曜の夜にはまた横浜を出て、日曜日に再びここへ来る予定です。当然目的は雪下ろし。次は39期・池田、四方、水野と一緒に来るはず。もう少しはかどることでしょう。

あと、マントルを持ってきたので使ってください。蛍光灯は1つ僕が持って帰ってました。中の電灯を取り替えようと思ってたのですが、全然小屋に来てなかった。申し訳ないです。電灯はちゃんと替えておきました。豆炭は日曜日に少し持ってくるはず。今年の夏は冬に備えてきちんと整備しないと。

やっぱり、小屋の中は寒いです。昼間は結構暖かいなあとと思ったのですが、さすがに夜は冷えます。もうシュラフにもぐっているのですが、シュラフから出る顔と肩はひやとしてます。ストーブをたいてこれだから、外はもっと寒いんだろうな。梅が満開の横浜とはえらい違いだ。

まだ19:30ぐらいだけど眠くなってきてしまった。でももう少し起きていよう。

現在20:40。さっき外に出たら満点の星空だった。星一粒の大きさが違うというか、ここに来て見る度に素晴らしいと思います。やはり小屋があってくれて良かったと思います。

さて、いい加減に寝ることとします。明日は一人で雪下ろしをしなければ……。

39th Masafumi Goto

1997年・平成9年3月6日 快晴

おはようございます。現在7:20。10時間以上寝ました。どうも風邪をひいたようです。のどがちょっと痛い。お昼ぐらいまで雪下ろししたら帰ることにします。

前にも書いた通り、日曜日(9日)にまた来ます。次は誰か来ていることを期待して……。

今日はものすごくいい天気です。気温も上がることでしょう。屋根の雪が非常に心配です。絶好のスキー日和だとは思いつつ、雪下ろしをします。外でパラパラと時々音がするので、雪が少しずつ落ちてきているようです。

そういえばホームページを作っているのでアドレスを書いておきます。

<http://www.dn.j.ynu.ac.jp/~b9544063/ywv/>

小屋の利用

- ・97.3.4-5 2日間
- ・3/4 田中義人(34期)、後藤誠史(39期)
- ・3/5 後藤誠史(39期)

雪下ろしの為

1997年・平成9年3月9日

雪 (のあいま はれ)

現在ワンゲルがごたごたしているので執行部4名のみでやってきました。・・・人手が足りない。

39th 四方

1997年・平成9年3月10日

1人あたりの雪上げ量は昨年よりも倍ぐらい多かった。

来た時は屋根の雪がすべて落ちていて入口もふさがれていた。

寒い。

39th 水野

1997年・平成9年3月10日

今年の春小屋は4人(後藤、四方、水野、池田)でした。来た時の小屋の状況は上の通りです。

小屋委員になっての初めての仕事がこんな状況で行われてシクシク……。でも逆に自由がとれてよかったです。

39期 池田

1997年・平成9年3月23日(日)

再び雪下ろしに参りました。僕は今年3回目、池田は2回目、覚田は初めて。やっぱり3人では人手が足りない。雪の重みで屋根がひんまがってしまったところがあるので、夏にきちんと直します。

昨日から今朝にかけて33キ藤井さんと元33キ横井さんが来ていて、スキーをしに出ていったみたい。でもザックを持って出ていったから……。

あれ？小屋ノートには何も書いていない……。

39th Masafumi Goto

1997年・平成9年3月23日(日)

小屋で「ワンゲルがたどったもの」という資料をみつけて読んだ。部に所属していながら部について知らない事が多いと痛感した。小屋は雪圧の方の方も

う大丈夫だと思っただけど木がくさるのが心配です。タッパーの中の食料は期限を過ぎたものもあるので日付をみて下さい。あとストーブを寄贈してくれる方がいればお願いします。(電気ストーブは不可)

39期 池田

1997年・平成9年4月2日 4泊

利用者；佐々健太郎、柳田史昭、伊藤栄二

(37th, 38th 0B)

目的；火打山スキーツアー

4月に妙高にやってくるのは初めてのこと。風邪で体調を崩して不安を抱えながら、なんとか小屋に辿り着きました。昨日はゲレンデで最近購入したばかりのテレマークスキーの足慣らしを行いました。アルペンスキーの経験を生かしてやれば「ちょろいもんだ」と思い、たかをくくっていたのだが、実際やってみると予想してた以上にテレマークターンが決まらない。イライラしてついついアルペンの滑りをしてしまう。この時期だから仕方ないのかもしれないが雪質もザラメ状(しかも荒い)で、更に追い打ちをかけるかのように冷たい雨。前回の正月の時もそうだったがどうも天候運に恵まれていないようだ。最終的には何とかテレマークの感覚を掴むぐらいのところまでには至ることができたが、満足を得るにはまだまだ程遠い。でもまあ最初からバリバリできてしまったら逆に面白くないからね。これからの楽しみが増えたと思って頑張ろうと思います。

この時期の小屋は、死ぬ程寒いということもなく、非常に快適で益々小屋に惚れ込んでしまいました。ただ、もうシーズンのには終盤なのでサンアントンや他の食堂も営業は終わってしまっているし、リフトも3基(杉の原ロマンス、杉の原ゴンドラ、国際第3高速)しか動いていません。但しリフト券は1日券が¥3800と安くなっていますが、ゲレンデスキーを思う存分やりたい派の人にはちょっとモノ足りないでしょう。

今日は、明日のツアー本番に備えて1日休息。(体調がすぐれないということもあるが) 佐々は元気良くゲレンデに出掛けていってしまいました。雨は降っていないけど天気はあい変わらず良くないです。

山スキーによる三田原山登頂は34期田中さんに先を越されてしまい 大変悔しい思いをしたので 明日からのツアーは是非成功させたいと息込んでいます。あとはこれ以上天気と体調が悪化しないこと(良くなること?)と祈るのみ。

個人的な話になるのだが、最近 益々 山をやるのが楽しくなってきた。“山”に限定してしまうと多少語弊があるかもしれないけれども こういう時間を過ごすのが何か言葉で表現するのが勿体ないぐらい気持ちイイと感じる。小屋が好きで訪れる人達にはきっとこの感覚が理解してもらえるのではないかと思う。

ワンダーフォーゲル部で経験したことも それ自体としても充実していて素晴らしかったけれど、これからの活動の(もちろん今現在を含めて)イントロダクションと考えても充分価値あるものだったという気がする。今年は 現役内部がもめていて、雪上ツアーや春合宿も中止になってしまったが、各自が自分自身の楽しみ方、スタイルを持って活動してくれれば必ずしも型にはまっていなくてもいいとは思ふ。(ただ、安全面を軽視して欲しくはないが)

卒業して4/1から働きに出ている学部と同級生たちのことを考えると留年してこんな生活を送っている自分が何だか申し訳ないような、情けないような気分になるが、僕は自分自身が見定めた道を実際に進もうと決めたのだから焦らず気負わず頑張ろうと思ふ。

佐々、柳田と共に結成した同好会「山の会」(仮称か?)の活動と個人的に38th 剛司とやっているフリークライミング、あと一年一緒に出来ると思っていたのだが諸事情により田舎に強制送還されることになり、折角の機会も生かせそうになく期待半減で残念だ。都会での暮らしにも疲れを感じていたので丁度良い時に田舎に帰ることができ、嬉しい面もあるが今後このような俗世と隔絶した生活をする機会や、同好の志を持った仲間を失うのだけが 少々心残りではある。この様な自分のためにも癒しの場としてのなえな小屋といつまでも存続させて欲しいと願う。厭世的な気分が襲われた時はまたいつでも来たいと思っている。

(4/3(木)◎)

OB 38th

Eiji Ito

4/3(木)

今シーズン2度目の小屋です。前回同様、雪が少ないです。あと、思っていたより暖かく、快適に過ごしています。昨日は一日ゲレンデでスキーの練習。夕方から雨が降り、朝方まで降っていました。

明日は、ツアーに出る予定です。

37th 柳田

4/4(金)

4/2、4/3、4/4と全て曇 時々雨。前線が停滞してどうにもならない。明日も天気悪そう。せめて三田原山位には行きたいのだが。

午後から陽がさしてきたのでシブタミ川右岸を登っていった。約1時間15分でゲレンデ(45° 斜面の下側)に到達した。そこから第3リフト終点までは45分位か?。

明日 晴れますように。

37期 佐々

1997年・平成9年4月5日

悪天候でツアーは中止。残念だけど諦めてもう帰り

ます。

Eiji Ito 38th OB

1997年・平成9年4月27日

今年もお世話になります。黒姫
パラグライダーで利用しています。

30th 笹倉+海洋学科OB1名

生産学科OB1名

1997年・平成9年4月27日

昨日笹ヶ峰から入山→黒沢→高谷池⇄火打

池ノ峰←三田原山

2日共快晴で最高でした。

と下山し、帰りにちょっと寄ってみました。

また、来ますのでよろしく。 22期 鴨志田

1997年・平成9年5月3日

火打へスキーに行ってきます。明日また来ます。

渡辺、松下、柳田、守屋

1997年・平成9年5月4日

無事行ってまいりました。雪が少なく下りが大変でした。では。

渡辺、松下、柳田、守屋

1997年・平成9年5月13日

山スキーで、卒業してからはじめて1泊しました。

22期 谷内

1997年・平成9年5月12日

笹倉30キ + 海洋2名

1997年・平成9年5月23日

34期、田中です。車を入手したので、笹ヶ峰にあそびに来ました。長野は、天気は良かったのですが、山は曇っていて見えない。ここまで登ってくると案の定ガスってました。林道の丁度真下に自然遊歩道があって所々ミズバショウも咲いていて仲々いい所。途中に清水の池という仙人池の半分くらいの池があって、多少人工的くさいが静かで良い。ワンゲルの人も行って見て下さい。冬スキーで散策するのもいいでしょう。

最近、小屋の利用状況はOBの方が断然多い。現役の人にも来て欲しいなあ。そしてできれば一緒に活動したいです。近いうちに何か企画を考えようと思ふ。

34期 田中

*小屋にいると時間がたつのをわすれる。

1997年・平成9年6月14日

笹倉30キ + 海洋OB1名

生産OB1名

パラグライダーで来ました。梅雨の中休みといったところ。今日は良い天気でした。

昨日 妙高山の北側(関山の1800mぐらいの所)でクマが人をおそったらしい。このシーズンは開放日に山に人が多く山菜とりに入るの、母子グマはけっこう気が立っているらしいとの事です。一昨年は黒姫でもニアミスがありました。注イされたし。小屋は一層いたんできた。今再建するかは話を置いておいて個人的には少し費用を集めてリフォームしたいと思っている。“寒い小屋”という事や“汚い小屋”という状態が利用率を悪くしている。雨もりもそろそろ心配だ。目バリをして、再塗装して、断熱材を入れるとかすれば良い。(断熱材は最近多く、小屋、ログハウスはかなりしっかりとやっているようだ。いいものが多く出ている)

1997年・平成9年7月19日

36th 富倉、渡辺+渡辺の両親

火打、妙高に登りに来ました。岡村栄二と思わぬ再会を果たし、夜には笹倉さん達もいらっしゃってにぎやかな小屋になりました。現役も夏小屋・夏トレに来るとい噂だったのに夜9:00を過ぎても現れない。心配だ。また冬にはTM スキーの練習に来たいと思います。ではまた。

1997年・平成9年7月19日

39th 山崎美穂 養護科3年

小屋に来たのは1年の雪上以来だから1年4ヶ月ぶり。4月に一回やめた私が1年生とともに小屋に来ているなんて・・・続けてよかったなと思う。それに今日はOBの方もたくさんいらして、嬉しい限りです。人数が減ってきてやらなくては・・・と思いつつやってくる、最近やっと自分が続けていることに納得できるようになってきた。

明日早いのでまた下山後に。



「早くも上で誰かが寝言を言った。笠原君じゃないの？」

1997年・平成9年7月20日

3連休を利用してきました。今回は30期笹倉さんと一緒に黒姫のパラグライダーをやってみました。非常におもしろいものでハマりそうになりましたが今朝から体じゅうが痛んで動けない。残念だけど今晚帰ります。

昨晩は、最近の小屋ではめずらしく沢山の人がいました。やはり小屋は人の多い方が楽しくていいです。

現役の人達も活動を楽しんで下さい。

PS YWVのHPを初めて見ました。感動ものです。更新したのを楽しみにしています。

PS2 岡村へ Mailを送るように。

(CZG07042@nifty.serve.or.jp) 33th 横井

1997年・平成9年7月21日

滞在期間 97 7/19 - 7/21 (2泊3日)

利用者 岡村希望 (36期) 伊藤栄二 (38期)

山の会(横浜国立大学ワンダーフォーゲル部若年OB)東海支部の全会員による初の山行として7/20 妙高山~火打山に日帰り登り切った。笹ヶ峰の登山口を出発したのが4:45AMで同じく下山したのが8:15PM。行動時間15時間30分(実際の歩行時間は11時間45分)ちなみにコースタイムは12時間20分の長丁場であった。体力的に強い人ならともかく並か、それ以下の自分としては、相当限界に近いものがあつた。火打山の登りにかかる頃から、二人ともほとんど無口になっていた。高山植物の美しさに気を魅かれる余裕すらなかつた。夏場ということで、比較的陽が長く、7:30PMまではほの明るかつたが、最後の40分余はほとんど闇夜の中で、更に悪いことに岡村さんがヘッドランプを登山口に停めた車中に置き忘れたために、二人でひとつの灯を頼りに下山するハメになつた。

道中、渡辺ファミリー(富倉さんも含む?)、現役隊に出会うという出来事もあつて中々面白い山行だつたと思う。

下山後初めて「ランドマーク妙高々原」に、風呂に入りに行つたが、個人的には「カンボ」の方が好きだ。笹倉さんの悲情報にひとつ付け加えると「ランドマーク・・・」は22:00以降も入浴のみだが、¥500で利用できることが判明したので、下山が遅れた時でも、どうしてもその日に風呂に入りたければ、「カンボ」と同じ料金で利用可能ということを有益情報として紹介しておく。

19日の夜は、苗名小屋に15人も泊まるという久々の快挙で元山小屋委員長として嬉しい限りであつた。歩荷訓練の後で大変と思うが、現役の皆さん、小屋の整備etc頑張つて下さい。(余計なことかも知らんが、床が傷んでいるので出来ればワックス掛けをすつと良いと思う)それとくれぐれも五八木荘への挨拶を欠かさぬよう。

Eiji Ito 38、OB

1997年・平成9年7月21日

先程登場した東海支部会員 No.2の36期岡村です。OBになって小屋に来たのは、2度目、山行は初めてです。(前は4年夏の白峰三山)なのに、行動時間15:30とは・・・。十二曲がり頭がボーとしてきてさすがに2年ぶりの登山はきつと思つたけれど、途中から体がマヒしたのかどうかは分らんが、火打

の登りは楽だった。(ような気がする。)
 今回はぐう然にも渡辺一家+現役+笹倉さん他2名
 に小屋で出くわし、苗名小屋の存在意義が十分にされた
 のではないだろうか。
 今日予定通り名古屋へ帰ります。東海支部の次回の活
 動に期待して下さい。

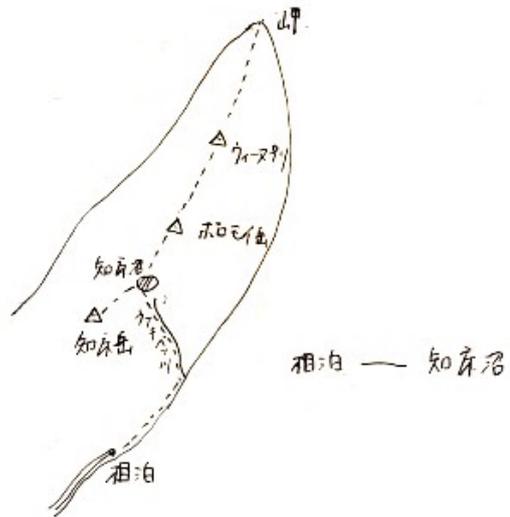
現役部員諸君へ

- ・ ストーブが足りないようなので、夏のうちに購
 入した方が良いでしょう。
- ・ ボッカ訓練お疲れ様。夏合宿も気を付けて行っ
 てきて下さい。

渡辺へ

オレのことはほっといてくれ。現実逃避の旅が台無
 しじゃないか。君は名古屋に来なくてもよろしい。

36期 岡村希望



1997年・平成9年7月21日

オレが来たのはみんなが帰った後か・・・

ホリ 38th

1997年・平成9年7月22日

34期田中です。現役部員が来るというので1日休
 みを取ってきました。連休期間中にも来たかったんで
 すが山(白馬～親不知)に行っていたのであえて平日
 に来ました。4年生を含めて7人しかいないけれどそ
 れでも人がいると楽しい。初めて会う41期と仲良く
 やれるかと心配してきたが、来て早々仲間に入れても
 らえてよかった。今日(23日)も1日あそばしても
 らいます。

岡村、栄二がハードな山行をしている頃、俺も山で
 格闘していました。3日連続12時間以上の行動、計
 60km踏破するという、ここ1～2年では一番きつ
 いものでした。長野を出発してから帰って来るまで現
 実から切り取られた様な3日間でした。

白馬付近は高山植物の宝庫です。花が好きな人は行
 ってみて下さい。他ではなかなか見られない「ウルッ
 プソウ」がうんざりする程咲いています。それから2
 泊目は長梅山北方1730m付近に泊ったのですが、
 ここがとてもいい所。20畳くらいの草地にサクラソ
 ウがびっしり咲いています。遠くからみて草地がピン
 クに染まっているよう。今まで泊った元湯でも5本の
 指に入る位です。

知床に行きたいという想いが現実のものになって
 きた。ハイマツと格闘して岬に降り立って見る夕日は
 どんな色をしているだろうか? 9月5日出発。見送り
 はいらないよ。

1997年・平成9年7月24日

夏小屋合宿

部員が減りながらも今年も夏小屋にきました。19日
 の昼に横浜を出発し、夜中に着きました。20、21
 日と夏トレのため妙高山縦走をしました。天気はさほ
 ど悪くありませんでしたが、山頂からの景色は白1
 色。何も見えませんでした。

夏小屋は22、23日を行い、布団、畳ほし、防腐剤
 ぬりはしました。9月にもう一回来ると思うのでその
 ときに補強とペンキぬりをする予定です。

昨日は昼過ぎに笹ヶ峰まで夏道経験を兼ねて行き、定
 年通り野球をしてきました。今年は11-10でチャ
 ーリードラゴンズの勝利でした。今年は滋賀の方から
 帰ります。

参加者 38期 神谷、堀
 39期 後藤、山崎
 40期 覚田
 41期 石川、笠原
 特別参加 34期 田中さん

1997年・平成9年8月9日

五八木荘のぢいちゃん、妙高高原町の幹部派出所の巡
 査を案内して小屋の内を見て頂く。又小屋の周りを下
 刈りする。

宿泊者はOB 勿論、現役を含めて管理人に何の連絡も
 なく利用して遺憾に思ふここ。

万一火災其の他の事故があっても責任はもてない。必
 ずtell1本でもして宿泊利用すべきである。

岡田悟 H9年9日AM11:00

1997年・平成9年8月9日

34th田中です。暑さを避けるため、少し考えご
 とをするため1晩泊ります。五八木荘には何の連絡も
 せず小屋に来て上の文章を読むのは気恥ずかしいの

ですが、まあ仕方がないか。

一晩考えごとをするだけでもつまらないので僕が現役頃の夏合宿について各、というのも先日現役諸君の連中が来て夏小屋をやっている参加したのだが、昔を思い返すとずいぶん変わったと思ったのである。それでまたくる現役部員にかつての夏小屋合宿とはどんなものか知ってもらうために書くことにする。

夏小屋合宿は僕が現役頃の頃(1990～1992)は9月の始めに2泊3日で行われていた。ワングルの夏休み中の活動は夏合宿、夏のPW、そして夏小屋合宿の順で行なわれていた。夏小屋が終わると程なく2学期が始まるから夏小屋が終わると「夏も終わりだなあ」と少し哀しい気がしたものである。

夏小屋の始まりは「夜9時上野駅?番線ホーム集合」である。当時23:58発急行「妙高」という定期列車があり、これに乗っていったのである。車で行く人もいたが、部員数も多く、「妙高」で行くのが主流であり定番であった。3時間も前に集合するのは席を確保するためと、ホームで銀マットをしいて酒のみながらダベったりトランプをして楽しむためである。だが本当に9時に来るのは一部もの好きだけで11時来る奴もいた。

小屋について一しきり休んだりくつろいだ後、小屋の修繕にかかる。当時参加者は20名ぐらいいて、きじ隊、井戸隊、防腐剤隊、ペンキ隊に分かれた。僕は1年生から3年生までずっときじ隊であった。きじ隊とは小屋のトイレの汚物を外に穴を掘ってそこに埋める作業をする。穴を掘る大体決まっています、最近掘った所をもう一度掘ると前の汚物が出てきてしまうから、そういう場所じゃない所をえらぶ。結構大きい穴をほらなきゃいけないが、2人ずつ3交代で2時間もやっていると、胸より深い穴が掘れる。そうすると今度は、トイレの水槽から汚水物を長いひしゃくですくい、ひものついた缶に入れ、それで穴へ運んで捨てる。水槽には雪融け水が入り込むので上の方は水みただが、段々比重が濃くなり最下層は“実”がたまっている。においは現物よりはすごくないが大したものである。この時ただ運ぶだけではつまらないので缶を持って行って捨てるまでに何秒で行けるか競争したりもした。やっている時あわててころんだりしたらどうなっていたことやら。(ちなみにこの競争にもえていたのは33キの福島さんである)

昔「きじ娘」という言葉があつてきじ隊に必ず新人の女性部員を入れてきじ娘と称し、「トイレは主に女性が使うから、お前がトイレの水槽に入って掃除をする」とうそをいって脅かしていた。今は死語である。

ペンキ隊は屋根のはげかかったペンキをそぎおとし、ペンキをぬる。屋根に上って命綱をつけて作業をする姿はかっこ良かった。そこで僕はきじ隊の作業が終わると、屋根に上って作業をしていた。屋根から見る妙高はひととききれいに見えた。てっぺんの一番高い所まで登って一人で悦に入っていた。(ここに登るにはちょっとしたコツがいる。)

井戸防腐剤隊の作業は省略。ペンキ隊を除き作業はその日のうちに終わる。手があれば、ふとんやたたみを干す。1泊目は夕食後「ついで会」を行う。当時は黙とうをした後、事故報告書をよんだり、遭難について意見交換をしたりして内容が割りと充実していた。

2日目は午前中に残りの作業を終え、午後はみんなで笹ヶ峰に行く。このとき雪上ツアーのための夏道経験として歩いていく。(一部の人を除く)笹ヶ峰では野球をする。僕にいわせるとこの時の野球は滅茶苦茶面白い。どう面白いかはうまく言葉にできないが、皆下手な割りに一生けん命やるからだと思う。そして負けたチームがその日の夕食の食当をする。

その日夕食が終わるといよいよ「夏小屋コンパ」である。(この言葉ももう死語である。)
「夏小屋コンパ」では、新しく執行部をとる人達のL養合宿のメンバーが発表される。それ自体どうということはないが、メンバー発表をネタに新執行部員を飲ませようという意図があり盛り上がる。夏小屋コンパで印象深いのは32期の河上さんが33期の福島さんをからかっていたら福島さんが本気におこり出し、とりなすのに苦労したことや、自分が新執行部になる時に滅茶苦茶のんでよいつぶれたことである。普段はアルコールが嫌いでも苦いと感じてすぐ止めるのだけど、その時は雰囲気によって、アルコールの苦さを気づかずに水みたいに飲んでた。最初は気持ちよくさわいでいたが、ある瞬間急に気持ち悪くなっていた。完全に「急性アルコール中毒」である。「寝ゲロ」をしたりして一晩中うなされていた。このとき32期の高瀬さん、33期の木村さんにつきっきりで介抱してもらった。うでをもんでもらったりお腹をさすってもらったりした。今でも頭が上がりたくないくらい感謝している。苦しい時に手を握ってもらうと不思議と安心するんだと知ったのもこの時だった。

次の日は帰る日である。一晩ぐっすり眠って元気なものとして二日酔いで気持ち悪い者も昼前には小屋を去る。次に来る時には、雪にずっぽりとおおわれている。

思いついたことをつらつらと書いていたら4ページにもわたってしまった。しかも字がきたない。読み返すことすら困難である。もし最後まで読んだ人がいたら、下に名前を書いて下さい。場合によってはお礼します。

読んだ人

横井(33th)、柳田(37th)、佐々(札をして下さい) 98年5月4日福島(33キ)

いい加減で終わらないと・・・34期 田中義人

1997年・平成9年8月12日

今回は、学科の友人2人と戸隠山に行った帰りに寄りました。夜中の1時ごろ着いたのですが、だれもいなく、静かだ。ちょっとワイン(30thの笹倉さんの名前入)を頂いて直ぐにねて、今は午前9時。ワインどうもありがとうございます。よくねむれた。

自分が小屋にくるのは10ヶ月ぶり。すごく長い間来ていなかった気がする。小屋日誌も内容量が多くなって、時間が足りず、詠みきれなくて残念。小屋ではのんびりするのいいね。今回はそうするよ。

ところで今回、戸隠山を下山したのが19:00 それから準備して(もちろん風呂の)妙高まで来たのですが、確か「かんぼの宿」が20:00で終了だったので、妙高の共同浴場に行ったが、タッチの差で終了(湯を抜いている途中)。しかたなく「ランドマーク」に行ったところ22:00～6:00までは

半額 500円 になることを知った。

これはお得でしょう。しかも夜中も営業しているとあって、もう「かんぼの宿」が終了しても、心配なし。

利用者 細谷(38th)
江崎(部外、横国大海洋)
畠山()

1997年・平成9年8月13日

34期 長谷川と井口 バイクツーリング2日目の宿に苗名小屋を選びました。小雨とひどい霧をかきわけて、ようやく着いた。すごく久しぶりという感じです。

昨日は、塩尻・道の駅・小坂田公園で長谷川と合流。ビーナスラインを走りました。天気は晴れ。下界は暑かったが、高地の風は涼しかった。ビーナスラインからの展望は最高でした!

長谷川の持っていた、レッドパロンのペンション割引券を使うつもりでいたが、満員だったため、浅間温泉に宿泊。1万のところが8千にまけてもらったが、宿の質はよくない。

2日目。(13日) まず松本城へ。お盆休みとあって城内で渋滞する。天気予報に反し、松本では日がさし、青空もみえたので、「あるいは」と期待。しかし、県道36で戸隠高原に入るあたりから雨。強くはないが、結局終日止むことはなかった。

妙高周辺はR18も整備され、かなり変わったという印象を受けた。変わっていないのは苗名小屋。霧のためヘッドランプの先が実体化して見える。光の腕を伸ばして霧をかきわけている様な姿である。18:45小屋着。

天気の良い日もあるが、夏だというのに小屋内は肌寒い位である。

8/14

まだ辺りは霧につつまれている。雨は止んだがようだが。この後、双方とも実家へ戻る予定である。長谷川は岡崎市へ、私は日本海側を經由して長岡市へ。

夜は真暗な小屋も、朝日(といっても雲越しなのだが)をうけて明るい。たぶん酒がなければ、太陽の運行と人間の活動時間が一致するのではないか。

昨晩はすぐに飲みに入ってしまったので、このノートはあまり読めなかった。しかし34期の田中が度々ここを訪れているようで、元気なのがわかってうれしい。なお、7ページ前からの長文は、拝読させていただいた。豪華賞品を期待する所である。

34th 井口 記す

利用者: 34期 長谷川、井口
'97 8/12～8/14 (一泊)

思っていたよりも、きれいに整頓され、快く利用できた。現役の人が今でもちゃんと手入れをしてくれているとわかって、うれしく思います。

1997年・平成9年8月15日

昨夜来て1泊しました。天気が良ければ、笹ヶ峰で2泊くらいキャンプして帰ろうと思います。

22期 鴨志田 岳志
24期 鴨志田 周子
鴨志田 文

1997年・平成9年8月23日

笹倉30キ+生産・海洋OB6名
(パラグライダー 一機おいておく)
☆雨戸外してあるので、すきまから虫がたくさん入ってくる。大きなところは、目ばりをした方がいい。

1997年・平成9年10月10日

過日、国大の工学部研究科の米屋勝利先生が長野で会議があり途中の御帰りにOBの幹部の方と2人で来られ御案内致して記録帳を持参され又私の処に返送されましたので小屋へ備付けに来て又県道の排水工事6人にたのんで少し修理致します。

H9年10月10日拜 (管理人の岡田悟さんの記事)

1997年・平成9年10月11日

昨晩よりパラグライダーと紅葉を目的に来ました。昨夜半から雨が降り、パラは中止しました。これから帰ります。

今回一般人を3人同行してきましたが、小屋の評判がGoodです。現役の人、メンテ有難う。(冬期は来た

くないとのこと)

五八木のオヤジの言葉は耳にいたい。いったいいつの頃だったろうか?

五八木に寄らずに入るのが当然となったのは・・・
元33rd 横井

PS. ランタン用にカートリッジを置いてきます。
適当に使って。

1997年・平成9年10月12日

昨夜の飲みっぷり、暴れっぷりはすごかった。きっとパラグライダーの方々はもう来ないと思ってんじゃないかな。二階から板4枚も降ってくるわ、日本酒ふっかけられるわで、それもこれもみーんな主将のせい。38thがくるとかいつて誰も来ていないから、未だに おかやすさん 39&41thの飲み会は38thには知られていない・・・・・・。夏に来て年内にまた来れるとは思っていなかった。紅葉の時に来てよかった。 みほ 39th

私のフリースジャケットをなくしてしまいました。お気付きの方は連絡くださいよろしくお願ひします
0468-51-1704 石川 真 (41st)

1997年・平成9年11月3日

・深夜に入りました。例のパラグライダーメンバーです。(こりない面々)

30th 笹倉+国大OB4名+地元(杉野沢)3名
・石川君のフリースらしきもの(紫色)があったので預かっておきます。来週OB総会があるので持参します
笹倉

1997年・平成9年11月23日

笹倉+海・生産・その他 計7名

1997年・平成9年11月23日

またまた横井です。この間つれてきたメンツがこの小屋をなぜか気に入り「もう一度行きたい」というのでつれてきました。

なんと「雪」です。ですから さっさと帰ります。

9:00 A.M.

3人X300円=900円

1998年・平成10年1/2～1/4

笹倉(30期) 横井(元33期) 佐々(37期)
柳田(37期)

目的: 三田原への山スキー

1/3 快晴 第3リフト終点から三田原を目指す。やぶがこくて2180mまでしか到達できず、またしても三田原へ行けず。残念なり。今年は例年にない少雪でどうしようもない。ただトレースは三田原に向っており三田原まで行ったようだ。
春にまた来て雪辱をしたい。

訂正1) 「はたしたい」追加

● 冬もおじゃましています。5年ぶりの山スキーです。今回は雪が少なく、予想外に時間がかかったので、三田原まで届かなかったです。メンバーはだいぶ若返ったのですが、次回土生をいれると平均年齢が上がるでしょう。

“ワンゲル”の小屋のふんい気もひさびさですね。
笹倉

山岳法人 横浜国大ワンゲル若手OB会
(横浜国大山の会)

横浜総本部

理事長 禅 知明(29期)、楠本なぎさ、梅田祥司、北林一俊、笹倉他数十名(別紙)、久保哲博

北海道・東北支部

会長 遠藤 幹、副会長 竹澤 智、福島 弘之*

*=>98・4・1西日本支部へ転出

東京支部

会長 藤井源一郎、副会長 堀越壮平、鈴木秀治

北信越本部兼苗名小屋管理事務所

名誉会長 五八木じいさん、

<会長、小屋受付>田中義人、副会長 村山浩樹

東海支部

会長 土生達也、副会長 伊藤栄二、岡村希望*

*=>98・4・1西日本支部へ転出

海外事務所

所長 ペニーさん(オセアニア方面事務所)

副所長 富倉 愛(欧州事務局)

会 規約 改訂 H10. 1. 3

第1条(本拠) 総本部を横浜国大物質工学科広田研究室におく。

第2条(資格) 会員は若手独身を原則とする。但し結婚、出産等々は会長の許可を得て行なうことができる。

第3条(会長) 会長、副会長は終身とする。但し会員からの下剋上は自由である。

1998年・平成10年1月3日

冬小屋にオジャマしています。ヨコイです。現役時代も含め、年末年始に小屋に来るのは初めてと記憶しています。笹倉さんに声を掛けてもらい、スキーツアーのトレーニングということで参加しました。残念ながら冬が全然ないのと(私の)ルート間違えから時間をくって上まで行けなかった。安定した頃にもう一度トライしてみたいですね。

今回は午前券で滑って、杉野沢温泉を体験して帰ります。

1/16(金)山の会 東海支部結成集会を伏見にて行ないます。(ゲスト:笹倉氏)遅刻しないように!!

以上

1998年・平成10年1月3日(土)

今年で3年連続の正月小屋です。別に意識してきているわけではないが、今年も来ています。やっぱり、この小屋の雰囲気はいいものです。できれば3月にもう一度来る予定でいます。

37th 柳田

1998年・平成10年1月3日(土)

'96.3.1に伊藤剛司が「雪のような人間ってかっこいいな。」と書いてあるのを読んで思い出した。井本稔が随筆で書いていた「平凡の重要性」ということを。(井本稔というのは反応有機化学を「やっていた学者である。結構有名な学者なので化学をやっている人は知っている人も多いと思う。この人が何を書いていたかという「学生時代に勉強もせず、町をフラフラしてばかりいたとき、ふと、軍隊を退役し、その後もくもくと薬局を経営し、ごくごく平凡に生きていたおやじが偉大に見えてきた」というのだ。それから井本さんは、それまで好きになれなかった化学だが一生懸命やってみるかという気になり、事実それを実行し、大きな業績を挙げた。ここで重要なのは、「平凡の偉大さ」に気付いたことと、だからこそ平凡で奇をてらわず、自分のやっている化学という学問をとにかく一生懸命やる、つまり実行したことである。平凡の重要性に気付く人は大勢いるが、それをどう行動に移していくのかは大きな問題である。と、行動をせずウダウダしている自分は考えたのでした。

37期 佐々

1998年・平成10年2月7日

1ヶ月ぶりの小屋です。33rd横井です。下界は長野オリンピックで盛り上がっている(?)の何をしていたんだろうって感じです。右側にフジイ、

左側にタナカという顔ぶれ、スペシャルです。

で、本日、三田原山に行きました。2戦1勝1敗です。スバラシイですね。冬小屋に来るようになって9年目になります。知らない世界でした。But 下り滑降の後半は最悪でした。「二度とテレマークなんかハクモンカ!!!」と、思いました。さて次回は何で来るのでしょうか?

明日は小屋の冬(転記者註:雪)おろしと天気良ければゲレンデに行きたいと思います。

そうそう、『冬小屋の夕食は鍋が一番!!!』それだけは皆さんにお教えましょう。

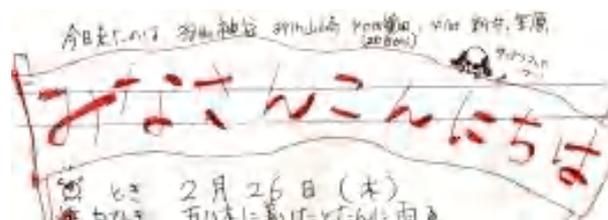
今回じゃんけんにも負けたフジイが食当でした。ゴチソウサマデシタ。もう二人とも寝てしまったので私も寝ます。バイバイ

1998年・平成10年2月8日(日)

34th 田中です。昨日から小屋に入っている。藤井さんと横井さんと3人で妙高に来て、昨日は三田原山に登った。コンディションは、晴れ、微風、気温は2℃/9時、1850mでした。第3高速まで上り、3時間で山頂についた。10日程前に黒姫山に山スキーで登った。山スキーを使うことで、フィールドが広がった。これから山スキーで色んな所に行ってみたい。

今日は午前中ゲレンデですべった。昼に小屋にもどり昼ねをする。外はすでに吹雪。小屋のありがたさを実感した。

キムチなべがおいしかった。食当のフジイさんありがとう。



1998年・平成10年2月26日(木)

今日来たのは 38th 神谷、39th 山崎、40th 覚田(20日から)、41st 新井、笠原

おてんき 五八木に着いたとたん雨

交通手段 「あさま」9:32東京発

本当は9:12の予定だったnだけど・・・五八木荘へのお土産 銀座「なーんだ?」の和菓子

¥3,000 かりんとう系の詰め合わせ

25日に来る予定だったけど、41st 石川くんが

バイクでひざを痛めたのと、39th後藤くんが風邪で寝込んだため、雪上を中止して今日きました。

二年連続雪上中止じゃん。

ザック背負ったままスキー滑れるか心配だったけれど滑れたよ。おとしは田中さんに運んでもらっていただけに、うれしいですねえ。見知らぬボーダーがチャーリーさんにどこの人かって聞いてた。

小屋に来てみると雪がほとんど落ちている！

夜に3回もドサッって音がしたから、コレ (転記者註: 左に小屋の屋根のデッサンがあり、頂部を指している) が落ちたかなー。明日は雪降ろしじゃなくて雪上げだ。

せっかくそりを買ったのに新井くんが乗って滑ったからわれちゃった。・・スキー滑れるようになってよー今夜はすきやき。チャーリーさんが玉子を割らずにもってきてくれました。でもやっぱり残ったのでドボンで恒例の後片付け。運良く私がトップ、イエーイ。

昨日は前々から来ている覚田くんには心配かけました。一人小屋で待っていたとは・・・ 私は3年の冬に小屋に来るとは思っていなかったけど、来たのはまだ2回目(冬だけで数えて)。来年も進路が決まったら来るかもね。教育実習は鎌倉市立山崎小学校にて5月。国大付属中と付属養護にて10、11月

がんばるぞー。とくに養護学校は地獄の眠れぬ2週間らしいので。

39th山崎美穂 '98. 2. 26 PM11

1998年・平成10年2月28日

38th細谷です。立ち寄りました。今回は「五八木」に泊り。(友人3人と共に)。小屋を見られてよかった。卒業してたぶん忙しくなるので、これがLastになる？機会があったら、雪の多い小屋に来たいね。ー。現役の大、雪おろし、ごくろうさま。ありがとう。

1998年・平成10年3月1日

0:16 (雪) 41期 笠原 小屋ノートデビュー
こちらのノートに書き込むのは初めてになります。41期の笠原です。どうにか(雪の量がすくないおかげで)雪上げも終わり、正直ホッとしました。これで心置きなく帰れます。しかしながら、来年度以降、自分達が部の中心となって活動することを考えると、かなり不安が残ります。小屋の修理が必要になった時に実際どう動けばいいのか、様々な作業を(経験したことがないもの、方法を知らないものが沢山あるのに)全てこなしかれるのか、など・・・
中、高のワンゲル部時代に山小屋というものに慣れて

いたこともあり、また、この場所での生活が好きになったこともあって、僕はこの小屋を大事にしたいと思っています。永く小屋を使わせてもらうためにも出来る限りの事はしていくつもりですが、もし自分達が気付かない事をOBの方々に教えて頂けるなら、とても心強いです。どうかよろしくお願いします。それでは、僕もそろそろ寝ることにします。おやすみなさい。

1998年・平成10年3月1日 (日)

天気 雪

7日前後に来るみなさんへ

発泡スチロールの箱の中の食料

ビニール袋に入っています 2つ
ラーメン、ウインナー、コーン缶、レモンティー、そば、ねぎ、ココア、お茶パック、缶各種 etc.

ほうちよう&おたまもこの箱の底にあります。

まだ新しいので、食べてください。 39th みほ

3. 1 (日) 今日 5人+村山さん は帰ります。午前中は ザックを下に運んだあとスキーサンアントンでお昼して 杉野沢 (?) 温泉に行きます。長野からは行きと同じ「あさま」で東京へ。

39thは3月中に41stへ引継ぎします。みんなで41stをサポートしていきましょう。

1998年・平成10年3月1日

2/20あたりから小屋に出入りしています。ずっとスキーをできたおかげで、パラレルターンらしきものができるようになりました。帰る予定だった3日にはまだ日があるので、十八切符でぶらぶらしながら帰ろうと思っています。

40th 覚田

1998年・平成10年3月1日 (日)

スキーをしに来ました。&山スキーの練習。やっぱり小屋の雰囲気はいいね。現役も元気があって何より。来週また三田原山に登りに来ます。

34th 村山

1998年・平成10年3月7日

また来たよ。

34th 村山

1998年・平成10年3月7日(土)

三田原山目指してまた来ました。
就職決まりました。

37th 佐々

1998年・平成10年3月8日(日)

山スキー装備一式を買い込んで三田原に再び try しに
来ましたが、シールがつけられず断念。土、日 2日
間とも午前券でゲレンデしてきました。

それと 33キ福島と共に転勤となり 4/1～大阪に行
きます。

今までのペースで妙高に来るのが難しくなると思うと
寂しくなるけどこの2日間で記憶にとどめることがで
きたかな？

山の会 関西支部設立に向け始動していきます。

どうもお世話になりました。 元33キ 横井

1998年・平成10年3月8日(日)

三田原山登頂して来ました。よかったよー
時間がないのでこれで……

34th 村山

1998年・平成10年4月12日(日)

16:30

只今、火打より下山してきました。昨日、五八木(旅
館ではない場所)に車を止め、笹ヶ峰、黒沢経由で高
谷池ヒュッテ、本日火打往復、再び黒沢経由で下山。
天気は2日とも快晴。火打頂上からの眺望は抜群。メ
ンバーは笹倉(30期)と佐々(37期)

途中、黒沢を渡ったとき、滝つぼがあり、岩魚がいそ
うだった。釣り竿を持ってくればよかった。山スキー
と釣りというのは中々カッコよい組合せではないか。
今度のゴールデンウィークに笹倉さんがまた来るそう
です。

(37期 佐々)

1998年・平成10年5月3日

36th 渡辺 隆史とその友人2名で火打にスキーツ
アーにきましたが、今年は雪が少ないようで……。
やはり問い合わせは大切です。これから高谷池に Tel
して上の状況を聞き、今後の予定を決めます。場合によ
っては苗名小屋にはもう寄らないかもしれませんので、
まずはあいさつまで。

1998年・平成10年5月4日

私、渡辺氏と高校の同期でチャーリー君の先輩である
守屋といいます。部外者ながら実はこの小屋の利用は
3回目となります。本当にいい小屋でいいですね。今
回は昨年につづき、スキーをしに火打に行きました。
雪が少ないのが残念でしたが天気がよくてたのしい山
行でした。話が変わりますが、今年の3月にニュージ
ーランドにトレックに行きました。Mt. Cook 周辺とル
ートバーントラックを歩きましたが、日本にはない風
景が広がっています。横国のみなさんも海外チャレ
ンジをおすすめします。
それでは、

1998年・平成10年5月4日

国大OBの佐藤です。渡辺隆史にそそのかされて、ここ
まできましたが、なかなかどころか、結構なところで、
全てにおいて大満足でした。 以上

1998年・平成10年5月4日

33期の福島です。小屋にくるのは3年ぶりです。
5/3,4,5 と3泊します。横井といっしょに大阪からき
きました。(4月から大阪に転勤になったのです)
今日はパラグライダーをやってきました。楽しかった。
明日(5/5)朝に帰ります。

現役のみんなの話を脇で聞いていると、自分の学生時
代のことが昨日のことにように思い出されます。まだ
まだ老け込んでいる場合ではないですね。
現役のみなさん、事故には気をつけて、今しか出来な
いことを精いっぱいやって下さい。

福島

1998年・平成10年5月5日

5/2,3,4,5 38th 神谷、39th 後藤、覚田、山崎、
41th 石川、笠原、42th 佐野、金丸
42th 新人の佐野です。小屋は予想通りの様子でし
た。トイレがきれいで、2回位ホッとさせていただき
ました。これからお帰りで。 では……

1998年・平成10年5月5日(1泊)

34th 田村

上の新歓組の人たちとは会えなかった、残念。
いやー42期ですか、早いですねえ。今年はいっぱい
新人が入るといいですね。

ひとりで小屋に泊るのも、初めてですが、いいもの
です。最初は2階でガサッ、ゴソッと音がする度、ち

よっと、いやかなり気になりましたが、もう落ち着いたようです。外は満天の星空。星々の無数の視線を感じながら、ひとり夜を過ごす。このノートを見る限り、結構、利用者、メンバーが固まってしまってるのが残念ですね。もっとも皆が利用するようになればなっと思いますが、とりあえず、明日天気良さそうなので、新緑を楽しみながら、ぼちぼち 東京へ帰ります。

P.S. 小屋はとても整頓されていて、キレイでした。現役をはじめとした皆様、ご苦労様です。

34th 田村

1998年・平成10年5月10日

連休後半かえりがてら寄らせてもらっています。パラグライダーを黒姫でやっていますので今年も小屋にお世話になります。小屋の防犯を考えるとカギをしっかりつけたいがなと思います。(よく山菜とりの人々が入っていたりするの・・・)

一応、ドアのカギを戸の(倉庫のこと)カギをOB会費で買っておきました。次回工具を持って来て付けます。ただ OB や現役が突然やってきて中にはいれないと困るので、当分玄関はあけておきます。OB 通信などでカギの連絡を徹底させたあとはカギを閉めておき、一つのカギを閉めておき、一つのキーは“ウラのある場所”を指定し、かくしておく。もう一つのキーは五八木に預けておくなどを考えています。

30th 笹倉+海洋生産OB(部外)3名

パラの遠藤です。5/5 にホワイトガソリンとその入れるキャップをおいていったのですが、見あたりません。どなたか、まちがえて、持って行ってましたら小屋においておいて下さい。

1998年・平成10年5月24日

ちょいと寄ってみた。今、外は雨。笹ヶ峰にブナの新緑を見に行ってきます。

34th 田中

P.S. 田村きてたのか。一言声をかけてくれればよかったのに。

笹倉(30キ)です。パラグライダーで黒姫に来ています。さて・・・

小屋の取締りについて

○ 不用心なのでOB会費でカギを買いました。ウラの網戸にはアルミサッシ用のカギをつけ、表の玄関にはふだん開放されている方にも金具をつけておきました。当面、玄関の錠前は取り付けません。

(夜中に車で訪問する OB や現役が入ると困るため)

- いずれ錠前をつけてカギは 1. 五八木 2. 小屋の外の指定した場所におこうと思っています。完全に閉まってしまうので、“指定した場所”はOB 連絡で回します。(次回総会案内のときに)その後カギを付けます。(カギ自身は既にも買って机の引き出しに入れてあります)

1998年・平成10年7月12日

参議院選挙の日(管理人 岡田悟)

小屋の鍵を紛失して笹倉様には御迷惑をかけましたが、家でお嫁さんから保健所で検査清掃のため見付けましたので小屋に入り記入します。

ワングル現役や OB の方で小屋に入られる方は私の家にありますから是非立ち寄って下さい。(又県道から小屋前まで車が入るように2ヵ年かかって整備いたしました。)但し雨天の場合に道路が傷みますから中止です。鍵：私が1ヶだけ保管してあります。以上

1998年・平成10年8月9日

高いけどJP使っている。

35th ひじかた

1998年・平成10年8月9日(1泊)

大学1年の時以来、6年ぶりにバイクで小屋に来ました。9日は笹倉さん、土方さんと黒姫に登ってきます。今は(9日朝)は快晴です。それでは。

36th 渡辺

1998年・平成10年8月13日

10分程立ち寄り。

両親が小屋を見たいというので、連れて来ました。越後の地酒(2本)は父よりの寄贈です。

「案外キレイ」というのが感想だそうです。

34th 村山

1998年・平成10年8月14日

10分程立ち寄り。

昔とぜんぜん変わっていませんね。これからも大切に使って下さい。

今日はササガミネキャンプ場(・)に泊り、まだなぜか登っていなかった妙高へ日帰りでピストンの予定です。

座イスとふとん寄附します。(ジヤマかな～?)
また寄らせてもらいます。 25th 竹内

1998年・平成10年8月17日

パラグライダー飛びに来ていますが、天気が悪く、小屋に足止めくらっています。8月も後半というのに大雨続きで今年は(も)変ですね。今日は福島(33期)も来ています。・・・全然はれそうにない。

現役へ

小屋の整備にいろいろありそうです。まず屋根の塗装はぬりかえる必要がありそうですね。以前は毎年必ず塗りかえていたのですが、最近は減っています。屋根のトタンがいたんで雨もりがひどくなると致命的ですのでここはしっかりと願います。2回かけて下塗りもやる事。かべの防腐剤もやって下さい。人数がすくないので大変だけど、どうしてもやれない仕事は残さないで、外注も考えて下さい。お金の面はOBが考えます。その他直したい事。窓ガラス、床の穴、床のワックス、2Fの雨戸のベニヤ、1Fの雨戸のベニヤ、トイレのコンクリなど。

小屋の利用が進まないのは ①よごれ②寒い イメージがあるからです。ここをしっかりと整備すれば、結構いい小屋になると思います。大切な部の資産ですのでよろしく願います。“よごれ”は目止めをしっかりとやる事がカンジンです。虫やほこりが知らぬ間に入ってきます。寒いのはストーブの外に屋根ウラなどに断熱材をはるのも手でしょう。他の小屋なら、そうしています。

10/17にOB会を五八木でやり、小屋の話をしますので、現役の方で小屋整備の要望事項(整備、資金)をまとめて提出してはいかがでしょうか。

小屋の話はあくまでも現役の要望がないと進みませんので。

30キ 笹倉

1998年・平成10年8月17日

33キ 福島です。
雨です。残念です。そのうちまた来ます。

1998年・平成10年9月4日

38キ 堀
車で来たかったんだけど使用不可のため、バイクで来ました。これで3回目。タイヤが台形になっちゃう・・・

1998年・平成10年9月5日

41期 笠原
本来ならば8/30～9/1に前期、9/3～9/5に後期の小屋合宿を行なう予定でしたが、台風の接近、天候の(見事な迄の)不順により、前期は中止となってしまいました。どうしてこういう大事な時に限って・・・。後期分の小屋合宿では、壁の防腐剤塗り(昨年手をつけられなかった一面と柱などの細かな部分)とキジ汲み、屋根塗りの一部(本当に一部)しか出来ませんでした。人数から考えて仕方ないのかも知れませんが、もう少し作業したいというのが正直な所です。しかし、皆の予定もありますので、今日の昼には帰ります。なお、灯油、ロール等の細かな物品は補充しておきました。

○今回の良くない出来事

ワースト3

No.3:前期は小屋合宿中止

No.2:主屋の中一面、銀世界

No.1:プロパン ついに切れる・・・

No.2について:妻すぎです。異常なまでの長雨により、カビが大量発生し、小屋一面銀世界でした。

No.1について:ついに来てしまいました。

出来る限り早く替えを手配しますので少しお待ち下さい。

アクリル板のはめ込みは、10月に行なう予定です。

<今回の参加者>

40th:覚田さん

41st:新井、石川、笠原

特別参加:堀さん(39th)

1998年・平成10年9月11日

研究室の人と2人で来ました。昨日は黒姫に登ってきました。

カセットコンロ置いていきます。

37th 佐々

1998年・平成10年9月11日

パラグライダーでまた来ています。今回は天気が良い日が多くなり、飛ぶには最高です。

ところで屋根の方はいたみが激しく数ヶ所雨もりがあります。本当は1～2年毎に塗りかえなければいけないのですが、だいぶあせているようです。30年以上耐えてきたのは、毎年の保守がしっかりしていた為と思います。ただ利用するだけでなく維持の重みも全部(OBも含む)で考えてゆきたいものです。このまま

の状態がゆくと数年の内に住めない小屋になると思います。古い小屋ですが今時自前でこんな小屋を持っている団体は少なく貴重ですので良さを享受すると共に手間をかけてゆかなければ成りません。OBの方々には小屋に関する委員会を呼びかけてゆくつもりですので、利用者、現役の協力をお願いします。

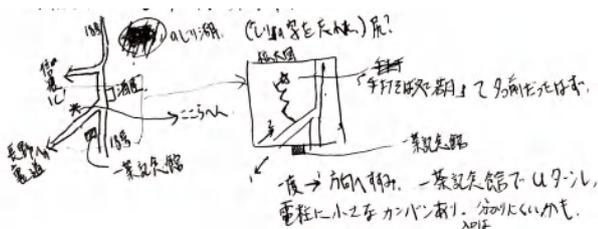
1998年・平成10年9月24日

33キ 藤井

8月とりそこねた夏休みをとり、友人とやってきました。22日(火)20:30東京発、小屋着AM2:00誰か寝ていたら気まずいな、と見たら誰もいなかったです。22日通過台風7号のせいで、小屋までの道は、かれ葉で黄、茶色のジウタン状態。

23日(水)秋分の日、6:30起床で火打山に向いました。道は荒れまくり、でかい木が根元から折れていて、十二曲がりの坂もふさぎ、台風のすごさを改めて実感。

高谷池ヒュッテに自炊で泊りました。高谷池ヒュッテには、初めて泊りましたが、実に快適な小屋でした。当日 or 翌朝に火打に登るつもりでしたが、前線の雨がけっこう強く、今回は高谷池見たからいいか、とあえなく下山。結果として判断は better だったようです。昼には下山したので、そばでも食うか、と店を探してたどりついたのが、黒姫の「若月」、おすすめです。ざる800円、おおざる(2枚分はありそう)1200円、天ざる1500円、時期が良いこともあり、うまかった。ただしけっこう量が多い。営業は10:00～16:00



キンチョールを1缶置いていきます。吸いすぎないようにご注意。トイレで効果あり!?

3年以上前?地下鉄サリンの頃33キ結婚ダービーというのを夜のヒマに任せて横井と藤井で始めましたが、誰も覚えていないし、気にもとめてないでしょう。鈴木秀治婚約でレース終了。鉄板レースでした。

33rd Fujii

1998年・平成10年9月23日

過日連絡いただきました

妙高プロパンです。

一応下見に来ました。雨が多いためお天気が良くなっ

てからと思いましたが、9/24日においでになっていましたね。

ご不自由だったでしょう。済みませんでした。

五八木荘から鍵を(入口(道路))借りてここまで入る予定です。以上 小林 清枝、小林 剛

1998年・平成10年10月6日

秋晴れの良い天気になりましたので本日午後8キロ容器2本ゴムホース等取付に参りました。ガステーブル2台清掃し、着火試験をしておきました。もし点火しない場合はマッチその他で点火して下さい。後は笠原さんに連絡します。

妙高プロパン 小林 清枝

〃 剛

新潟ケンベイ(株)の容器は回収しました。

10年～13年位前に届けてあった容器です。

調整器のねじ込部分のパッキンわれていました。ガスマレの原因です。

1998年・平成10年10月18日

10:23本日はOB総会を五八木荘で行い、40名程の参加があった。

1st～41stと参加があり、盛大なものになった。

あと、JRについて「高い」、「本数がない」、「増結」、「周遊券」などについていろいろ貴重な意見をいただいた。ちなみに私は、「さいたま新都心」の駅がらみにしごとなので、営業系の仕事とはちと異なる。とにかく時刻表をおいていきます。

「冬こそJR」 「本日もご利用ありがとうございます」

35th JR 大宮工事区 (土方)

1998年・平成10年10月18日

台風一過の晴天 29th ゆずり

台風10号が夜半に通過し、空が雨と風で“透明”になる素晴らしい天気です。

前述のとおり、H10年度OB総会を昨日、お世話になっている五八木荘ですませ、本日岡田さんをはじめOBの方々と小屋へやって参りました。現役が維持を一生懸命にやってくれていることに一同感激しました。

36thの大池くんからふとんを寄付して下さいました。ありがとうございます。

P.S. 本年8月、故28th岡本さんの13回忌に参列してまいりました。

1998年・平成10年10月18日

10/17, 18のOB総会を利用して小屋泊まりしました。

昨夜、台風が通過。今日はとてもよい天気です。
37th 柳田、佐々、伊藤 (栄)

要望： うーん、すき間風をなくしてほしいです。
さぶ～

1998年・平成10年10月30日

(五八木荘管理人 岡田悟)

私の山小屋の冬籠のため来て小屋の中を見る。整理されており、気持が良い。私の家で使用していた古物毛布若干差し上げ度、現役の委員長に連絡済みである。紅葉がきれいだ＝：もうすぐ雪だ＝：
先般山小屋管理31周年で私の家で總會を開催して頂き、表彰を受け、感謝して居ります。
ボケてチホウ症い1歩手前ですが頑張ります。

1998年・平成10年10月30日

火打、妙高登る為きました。
小屋は5年ぶりですが、内も周りも小屋までの道もきれいになっていて管理して下さっている岡田さんや現役の方々には頭の下がる思いです。11/2まで利用させてもらいます。

31st 伊藤

1998年・平成12年12月26日

34th 田中・村山コンビ 1泊2日

昨日は天気はまあまあ ゲレンデの雪質は上々、リフト待ちなしで充実した滑りができた。
今朝は天気がいい。
これからゲレンデに向うが今日はものすごく混みそう。
年越しして小屋に来る人、よいお年を。

34期 田中 義人

1998年・平成12年12月28日

久々に冬小屋に来ました。今日は晴天でゲレンデの雪もかなりとけて滑りにくくなっていますが、妙高はともきれいです。

いよいよOBの山小屋委員会、来年には発足の予定。再建問題も一歩前進というところです。

小屋の先発隊となると思っていたのですが、田中が来ていたので良かったです。

◎田中へ →今後とも小屋と、小屋にくる現役をよろしくたのむ！！

30キ 笹倉

1998年・平成12年12月29日

利用者： 笹倉さん、櫻井健太郎 以上2名

目的： 冬の小屋でのねどまり

さて、以下ボクの経歴 (YNU以降) を記しておきます。

H6. 4.1 YNU 工学部 建設学科 海洋工学コース入学

4.? YNU 体育会ヨット部入部 SNIPE 級にのることになる

7.?-9.15 ヨット部休部 CANADA を旅する 後半バーでバイト

10.? 人力飛行機を作る準備会に参加

11.? ヨット部オフに入る 人力飛行機に深くかかわるようになる

3.? サークル “横浜エアロスペース” 結成

4.? 鳥人間コンテスト一次審査パス

これ以降 H7.? 飛行機作りで死ぬ

H6. 7.? とある先輩の設計した機体未完のまま放り出す。

その後急造で機体を作る (2week?) ボクは尾を製作

H6. 7. 末初めて鳥人間コンテスト出場 記録 18.? m

AM8:00 つかれたのでまたあとで

1998年・平成12年12月29日

36th 渡辺です。テレマークの練習に来ました。今晚の宿泊者は笹倉さん、横井さん、櫻井さんと私の4人です。夕食は笹倉さん達が用意してくれたおでんを頂きました。美味々々。

雪が少なく、明日降ってくれないとスキーができなくなりそうなのが心配。31日には大池の他、私の高校のワンゲルの友人が6人で大挙して来る予定で、楽しいお正月になりそうです。そうだ、年賀状を書かなきゃ。1/4まで滞在予定です。ではまた。

1998年・平成12年12月30日

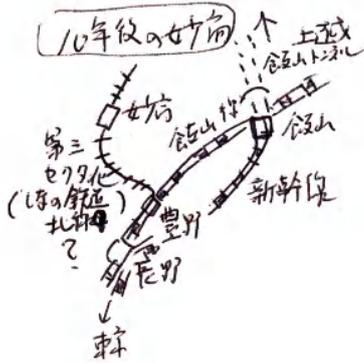
ここ2～3日は素晴らしい快晴で、とても冬とは思えないような状態で、ゲレンデの雪もどんとけて行きましたが、今日になり大雪の天気は一変して買出しに行き、温泉に入りたいのですが、ゲレンデで滑るのはやめました。夜は北海なべ+うどん+多量のつまみ+お酒で楽しんでいるのですが、運動量<食事量の状態なので重量増加が気がかりです。

P.S. (こういう話を書くと土方がよろこぶと思います)

30キ 笹倉

ふもどで新聞をみていると、整備新幹線の来年の予算が大幅に増やされ、さわいでいる様ですが、いよいよ族議員の圧力で歯止めがきかなくなってきた感がある。長野～上越間の工事が本格的になるが、完成後は妙高近辺のJRは第三セクター化されるが、現在よりも不便にならないかと心配である。(新幹線ルートは飯山から飯山トンネル (24km) に入り、そのまま上越に抜

けるので
妙高は通
らない。
櫻井君と
隆史と
横井は
寝てしま
った。
そろそろ
店しまい
して寝ましよう。 P.M. 11:10



苗名小屋日誌 No.25 (1995年7月23日~1999年3月4日)

現役部員5名(41st 石川、新井、笠原、42nd 金丸、古谷)にて雪下ろしにやって参りました。
今はまだ夜9時半ながら、夜行電車とラッセルの疲れからか皆眠ってしまいました。
冬の小屋は、やはり冷えますね。
僕も、早めに寝てしまうことにします。
明日は、成人式。そこで今年20歳になる僕は背広を持って来させられました。折角なので着ます。革靴は忘れましたが。
明日からは田中さん、村山さん、渡辺さんも小屋にいらっしやるとのこと。にぎやかになりそうで楽しみです。なお、僕たちは17日(日)昼頃まで滞在しています。

41st 笠原

1999年・平成13年1月1日

わーい 書き初めだーい。

私、部外者の守屋といいます。せんえつながら'99の初めを、かざらさせていただきます。実はこの小屋は4度目で、36期渡辺君のおかげで利用させてもらっています。

96~97の正月の時は雪がなくスキーも今一つという感じでしたが、今年は想像以上の雪があり、この小屋にたどり着く前に遭難しそうになりました。別の林道を1時間くらい登ってしまいました。雪をなめたらいかんですよ。滞在は4日までいると思いますが、くじけたら早く帰ります。

1999年・平成13年1月1日

来ました。

(37期 佐々)

1999年・平成13年1月3日

渡辺君の友人5人 X2泊+1人 X4泊の4200円を支払い致しました。どうもお世話様でした。

1999年・平成13年1月4日

渡辺の宿泊費6泊分 入れておきます。

29日の少雪の心配もどこへやら、連日の大雪にグレンデまでのラッセルがゆううつな今日この頃です。雪下ろし、頑張ってください。

魚肉ソーセージ4本とサラミソーセージをおいておきます。'99, 3某日までの品質保持期限となっておりますのでお早めにめしあがってください。

1999年・平成13年1月14日

P.M. 9:30

1999年・平成13年1月15日

(金) <成人の日> 34th 田中、村山、36th 渡辺 来ました。17日までの予定です。

私、渡辺は4日までおり、カゼをひいて帰ったのですが、しょうこりもなく、またまたやって来ました。小屋に小鍋2ヶを寄贈します。少人数で米を炊いたりおかずを作ったりするのに使ってください。ちなみに1ヶ500円でした。

1999年・平成13年1月16日

34th 田中です。昨日から小屋に来ています。今月は渡辺と2人で三田原山に登ってきました。今日のコンディションは雪、南の風10m/s、-10°C/12:00、2300m

稜線の上に出ると雪が顔にあたり痛かった。雪がフカフカで案外歩きにくい。それでも登頂を果たした。これで4度目の登頂。景色は全く見えず、ひたすら寒いスキー山行だったが充実していた。

1999年・平成13年1月17日

36th 渡辺です。昨日は田中さんに連れられて、三田原山登頂を果たしました。どうもスキーをはいてラッセルをしていると、左足の付け根が痛くなるのが癖になっていて、ラッセルのしかたに問題があるのか、筋力の問題があるのか、とにかく解決したいものです。下りではコケまくりました。ちょっと深雪になると、ボーゲンもろくに出来なくなってしまうのは困りものです。最後には谷のトラバースで小雪崩も経験してしまいました。表層20cm位の雪崩でしたが、田中さんが数m流されてしまい、怖かったです。一昨年には同じ谷の雪崩で死者も出ているそうだし。田中さんも書いていますが、困難が多かったものの、無事に帰

て来られ、充実したツアーでした。今日は、午前中だけ滑って小屋でのんびりとしています。昼はチロルで食べましたがmやはり、サンアントンの方がずっと美味です。では、そろそろ帰ります。

1999年・平成13年2月13日

33rd 横井です。会社を1日さぼって12日から入ってます。外は雪。結構ふってます。

雪下ろしをしようにも怖い位雪が多く、一人では危険だと判断して何もしていません(ゴメンナサイ)。

13:45 持って来た文庫本3冊を読み終わり、帰るか残るか考え中。

昨日の午前中に少しだけスキーをしたけどゲレンデは最高のコンディションです。自分のシュプールが残り粉雪が舞う、そんな感じです。

ちょうど、山の頂から滑る時の様な雪の深さ、重さ、ターンのしにくさがあります。

冬小屋に一人ということに慣れてしまうのはコワイ気がします(いいものですけどネ・・・)

15:00 やっぱりもう1泊して帰ります。

1999年・平成13年1月14日

今日はバレンタインデーですネ。

外はピーカンの晴れ!!温泉に入って帰る ですかね
A.M. 9:45

1999年・平成13年3月3日

快晴 6(土)まで滞在する予定。

テレマークの修行のため来ました。

就職がやっと決まり、ゴミのアルバイト(清掃車「パッカー車に乗ってゴミ収集するアルバイト」という)も2月一杯で終わり。

少しヒマが出来たので来たのですが、ノートを見ると昨年の冬の('97～'98シーズン)の小屋には自分が来ておらず、2年振りの冬の小屋となります。本当は、37th佐々、柳田と共に、冬山に入る予定だった(甲斐駒、千丈or鳳凰三山)のですが、社会人山岳会に入ってバリバリに活動している二人にはとても着いてゆけそうもなく、技量不足とも思われたので辞退させてもらいました。(スマン!)

到着早々に今シーズンの初滑りをしましたが、やっぱりテレマークスキーは難しいです。テレマークの「テ」の字になりませんでした。今回の練習で少しはモノになるよう頑張ろうと思います。

チョットひとり言

何か小屋の中にモノが溢れているような
でも使えそうなモノが少ないような・・・

小屋を見た時は、屋根の雪が凄くてビックリしました。その重量の所為でしょうか、入口の扉が開かなくて困りました。現役も忙しくて大変でしょうが、雪下ろしをしないとヤバイかも知れません。僕がいる間にツブレないことを祈っています。

小屋も大体来るメンバーは固定していますネ。僕の前は横井さんがひとりで来ていたようですがどうもお疲れ様です。(しかもバレンタインデーに) *注 別に他意はないです ひとりぼっちの小屋は寂しくて、寒くて、少しコワイ気がしますが、そんな状況下にある自分が好きでもあり、結構イケてるような気がします。これってナルシズムでしょうか?

腹が減ったので飯喰ってサッサと寝ます。朝になったら小屋と共に逝っていたなんてことにならないことを切に望みつつ・・・。

(一応 五八木に挨拶しておきました)

Eiji Ito 38th

1999年・平成13年3月4日

快晴

一日ゲレンデでテレマークスキーの練習をしてきました。帰ってからひとしきり暇だったので少し整理と掃除をしておきました。最早不要と思われるモノ、妙高の指定袋に入れておいたので夏小屋の時に捨てて下さい。(大変手間を掛けるかと思いますが宜しく願います。) やってて気付いたのですが、小屋に色々置いていくのは若干問題があると思います。食糧にしても2～3年の消費期限があり、夏を越しても大丈夫な缶詰類はともかく 持ち込んだ物は基本的に持ち帰る

* <Take in, Take out(?)>->ヒマラヤ登山等でも主流になりつつある。ことを徹底すべきではないでしょうか。特に酒類のビンや使用済のEPI 缶等気に掛かります。現役部員の人数も少なく、こうした仕事(ゴミ処理)の全てを彼らに任せるのは気の毒な気がします。酒やジュースの飲み残しも何年もそのままになっている様に思います。

OBも何かを寄贈する時は、それが本当に小屋に必要なかどうか、良く考え、又、備品等(鍋類、履物、ストーブ、掃除道具、シャベル・・・)を使用したら次に使う人が気分良く使えるように保管すべきでしょう。特に今回、注意すべきことを書きます。

・ガス台(コンロ)の掃除も忘れずに!

しないと、ゴミが詰まり、点火不良、立ち消えの原因になります。危険です。

・豆炭の袋の口を閉じて下さい。湿ってしまいます。

・使い掛けの食糧*、調味料は持ち帰ったほうが良いと思う。あまり消費されない様です。

*野菜等、生鮮食品は特に(これは現役が残していったものか?)

- ・備品は元あった場所に返しましょう。
長靴、下駄、火バサミ、軍手、ホウキ、シャベル
・・・あちこちに点在していました。

以上、一杯豪そうなことを言ってしまいましたが、永く、美しく、利用したいと思う僕の気持の表れと理解してもらい、勘弁してもらいたいと思います。

なえな小屋を愛する他の皆さんにも、こうした問題を多少なりとも考えてもらいたいと思います。

Eiji Ito 38th

最後のページになりましたので新しい記録帳を勝手に作らせてもらいました。

言いたいことを言って、ノートまで勝手に作って、現山小屋委員長に対する越権行為ですネ。

しょうもないOBでゴメンナサイ。

苗名小屋日誌 No. 25 (1995年7月23日～

1999年3月4日) の電子化作業完了す。

大学ノート98ページの内容を、実質10日間掛けてパソコンに向って作業をしました。

留意点；極力原文を尊重する。明らかに誤字と思うものは修正した。カタカナ、ひらがなはそのまま写す。絵が挿入されているものは、スキャニングして貼り付けた。

この作業を通じて、現役並びにOB&OGの小屋に対する憧れ、愛着をひしひしと感じることができました。読まれたOB&OG並びに現役の方々はどうな印象をお持ちになられたでしょうか。

今年2008年は苗名小屋建設40周年の年に当たりNo. 0～No. 24まで既に電子化作業が終了し頓挫していたものを継続して、その後のNo. 25(この部分)を区切りのいい今年中に終了すべく取り組んでいます。

過去の分は、苗名小屋のページにバックナンバーを取り揃えてありますので、読み返していただけるようお願い申し上げます。

No. 25 電子化作業担当者 9期 鈴木

2008年(平成20年)7月3日記